模型情報5月号 昭和60年5月1日発行(毎月1回1日発行)第6巻第5号通巻69号 昭和59年10月26日第3種郵便物認可

Monthly BANDAI Making Journal

模型情報®

5 1985

100yen



●伊藤和典原作

SF小説「スパイラルゾーン」

Zガンダム NEW MSデザイン

成田亨スペシャルデザインワーク

石井和夫のプリティフィギュア

表紙 イラストレーション

構成●北爪宏幸/イラスト●増尾隆幸



カット・水縞とおる

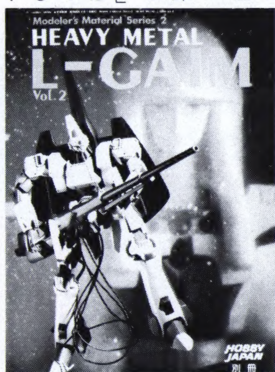
「エルガイム」関連書はますます面白くなるぞ！

放送中からムック類が数多く出されていた「重戦機エルガイム」。キャラクター、メカニック共にアニメ・ファンの心をとらえてしまったが、番組が終了してもその人気は衰えず関連ムック類の発売が数多く予定されている。

最近刊では、MJ別冊の「MJマテリアル③・重戦機エルガイム」があるが、徳間書店とホビー・ジャパン社からも発売された。

アニメージュ文庫「重戦機エルガイム 私の名はギャブレー」（定価380円）はギャブレット・ギャブレーをメインにした編集、ギャブレーの名場面集はもとより、キャラクターのイラスト集や杉島邦久監督の読み切り小説「白いヘビーメタルの謎」など盛りだくさんの内容、中でも、実際のセルを使用したヘビーメタル集は、MJ読者必見の迫力！。編集はご存知、池田憲章さんだ。

ホビー・ジャパン別冊の「Heavy Metal L-GAIM Vol2」（定価680円）は、「エルガイム」中心の作例集の2冊目で、マークIIをはじめ、ガイラム、ブラック・C・テンプルクレパール、ギラッピー、ファテイマなどスクラッチモデルが中心



MSイラストに注目！「Zガンダム」レコード。

鮎川麻弥のピュアな歌声が、スピーディな画面にマッチしている「機動戦士Zガンダム」のオープニング・テーマ「Z・刻をこえて」がヒット・チャート上昇中だ。

現在まで、オープニング・テーマのシングル（定価600円）エンディング・テーマ「星空のBelieve」と「Z・刻をこえて」のロング・バージョンを収録した30cmシングル（定価1000円）、そして、三枝成章作曲による「オリジナルBGM I」（定価2500円）がスターチャイルド（キングレコード）より発売されている。いずれも鮎川麻弥とMSアートのダブル・カバーで、特に、イラストレーター・山崎正夫さんによるMSアート（発売順に、ガンダムマークII、リック・ディアス、ハイザック）の連作が話題を呼んでいる。5月21日には「オリジナルBGM II」が発売する予定。次のMSは何？







最新SF＆ホラームービーの祭典。

5月31日から10日間に渡って、東京の渋谷の街で第1回東京国際映画祭が開かれる。渋谷の映画街、渋谷公会堂、NHKホールなどを中心に世界中から話題の新作映画と作家を集めての一大イベントとなる予定だ。その中でもSF＆ホラーファンにとって注目なのが、渋谷パンテオンで開かれる「ファンタスティック映画祭」だろう。

これから劇場公開される新作も含めて、ファンの間で評判が高くとも未公開となっていた傑作が一挙に17本上映される。主な作品は、カナダの鬼才デビッド・クローネンバーグの「ヴィデオドローム」と「デッドゾーン」、ジョージ・A・ロメロのホラー「クリープショー」、近く劇場公開されるオーストラリアの恐怖映画「レイザーバック」などなど。

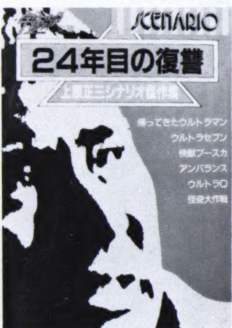
詳細はファンタスティック事務局03－486－1752へ



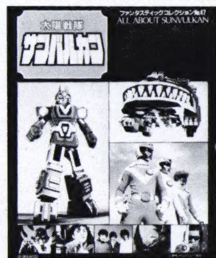
上原正三作品をシナリオで読もう。

「宇宙刑事」シリーズや「巨獣特捜ジャスピオン」などで活躍中のシナリオ・ライター・上原正三さん関係の本が朝日ソノラマより発売された。

「宇宙船文庫・24年目の復讐・上原正三シナリオ傑作集」（定価620円）は、円谷プロ作品を中心に、17作品のシナリオを収録。未使用の作品も入っている。



「ファンタスティックコレクションNo.47・太陽戦隊サンバルカン」（定価680円）は、アクションとデザイン中心のムック。メイン・ライターだった上原さんのシナリオも収録



発表！ 第2回バンダイモデルグランプリはダントツの強さで1/100エルガイムMKIIが受賞

ベストボックスアート		
順位	キット名	得票数
1	1/72　ズワース	603
2	1/144 H.Mバッシュ	388
3	1/250 初代ゴジラ	320
4	1/144 パーフェクトガンダム	317
5	1/144 MS-14Bゲルググ	291

ベストボックスアート
No.1 1/72 ABズワース





ベストプロポーション
No.1 初代ゴジラ

1/100エルガイム MKII

ベストプロポーション		
順位	キット名	得票数
1	1/250 初代ゴジラ	523
2	1/100 FAエルガイムMkII	498
3	1/144 MS-14Bゲルググ	352
4	1/144 H.Mグルーン	295
5	1/100 F.AエルガイムMKI	262

2月号で募集した「第2回・バンダイモデルグランプリ」の投票結果が出ました。応募総数5683通。予想を上回る投票数に驚いてしまいました。

まずベストプロポーションNo.1として選ばれたのは、1／100エルガイムMkIIと大接線を演じた「初代ゴジラ」でした。これは、速水氏原型による動きのあるポーズと、金型の限界に挑戦した表面ディテールの良さが評価されたのでしょう。

次に、ベストギミックNo.1は、予想通りともいうべき、1／100FAエルガイムMkIIでした。金属パーツやゴムパーツを使用したFAシリーズに加え、メカ自体に変形という要素があったために得票を集めました。昨年のビルバインといい変形メカはやはり強いですね。

次はベストボックスアートNo.1。何とダンバインシリーズの「ズワース」でした。この部門は、他の部門に比べ、票が散ったのですが、その中でズワースのみが飛び抜けて票を集めました。開田先生の作品ですが、目の覚める様な青空と白い雪景色の中に立つオーラバトラーが強く印象に残ってます。

2位以下は、ほとんど差がなく、順位はつけにくいところでした。

さて、以上を総合した結果、「第2回・バンダイモデルグランプリ」となったのは1／100FAエルガイムMkIIでした。ベストギミックとベストプロポーションで大きく得票した事が決め手となりました。2位は、初代ゴジラ3位は、1／100FAエルガイムMkI。4位は1／144パーフェクトガンダム5位が1／144バッシュという結果でした。

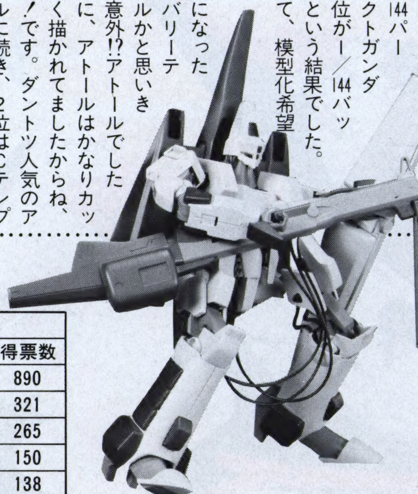
さて、模型化希望No.1は、中止になったカルバリーテンプルかと思いきや、意外!?アトールでした確かに、アトールはかなりカッコ良く描かれてましたからね、納得！です。ダントツ人気のアトールに続き、2位はCテンプル。以下、1／100バッシュ、Zガンダム関連、新作ゴジラ関連、と続きます。1／100ギャリアも今だにあきらめられない人が多い様です。

狂四郎のヘビーガンダムというのも多かったけど、第2のパーフェクトガンダム、とはならないでしょうね。

この結果、昨年の反省と今後の企画に役立てます。

模型化希望
No.1 H.Mアトール

模型化希望		
順位	キット名	得票数
1	H.Mアトール	890
2	H.M Cテンプル	321
3	H.M 1/100 バッシュ	265
4	Zガンダム	150
5	新作ゴジラ	138



ベストギミック
No.1 1/100FAエルガイムMKII

ベストギミック		
順位	キット名	得票数
1	1/100 F.AエルガイムMkII	1451
2	H.C.MエルガイムMkI	1020
3	1/100 F.AエルガイムMkI	692
4	1/100 オージェ	155
5	1/144 エルガイムMkII	120

VARIABLE MOBILE SUIT

Zガンダム

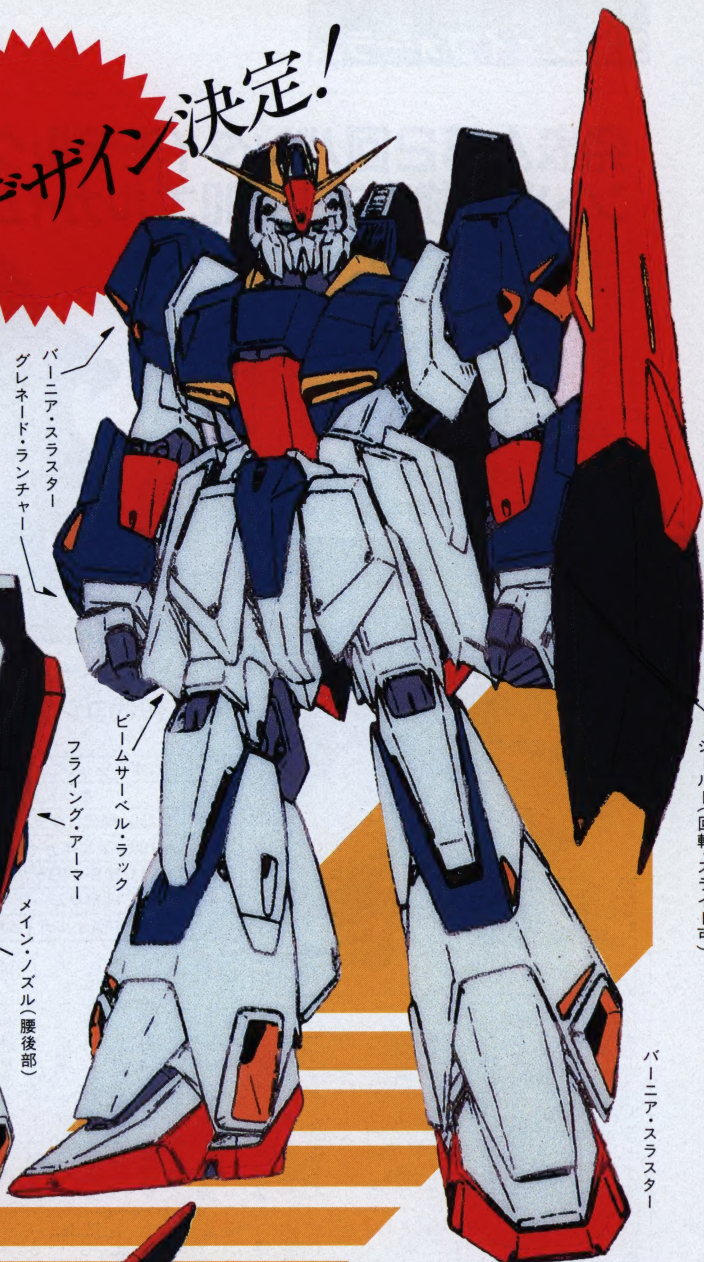
デザイン決定！

　オープニング・アニメでは〝シルエット〟のみだった主役メカ「Zガンダム」のデザインが遂に決定！　飛行体型にトランスフォーム（変型）するニュータイプだ。

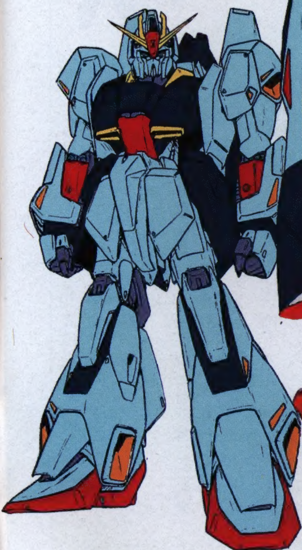
FLYING ARMORED
フライング・アーマー
Z GUNDAM
ゼータ・ガンダム

　額のZマークが印象的な「Zガンダム」。飛行時には、フライング・アーマーを背中にセットして、ハイスピードで滑空する。

シールド、ビームガン等オプション用マウントランチ



準備稿



表紙のイラストは、この準備稿をもとに描かれた。形状も微妙に変化している。

WAVE RIDER
ウェイブ・ライダー

MSからトランスフォームしたZガンダムは「ウェイブ・ライダー」と呼ばれる。ビーム・ライフルやミサイル・ポッドを装備する。ことも可能。



● 毎週土曜日・夕方5時30分よりテレビ朝日系放映中。

RMS-107
マラサイ

ハイザックの改良型ＭＳ。エゥーゴの協力会社アナハイムがティターンズに提供した。ハイザックよりも出力が大きい。全長22m。

MARASAI

MSN-00100
ヒャクシキ（100式）

9話よりクワトロ（シャア）大尉が乗り込むＭＳ。両肩に百の字がマーキングされている。開発設計者はM・ナガノ博士。全長22m

100 SHIKI

RMS-179
ジムII

RGM－79ジムの改良型MS。サブ　センサーユニットや360°リニアシート・システムなどが新しく装備されている。

GMII

MSA-003
ネモ

アナハイム社製のジム発展型ＭＳ。ジムより太目で、ジムのビームライフル。Ｒ・ディアスのビームサーベルを使用する。全長19.5m

NEMO

ZG Mobile Suit Mechanism

GUNDAM MKII,TITANS' COLORE

どうも世界感がつかみにくいな、という人のための「機動戦士Zガンダム」鑑賞の手引き

HOW TO ENJOY OF "Z-GUNDAM"



主役メカの「Zガンダム」のデザインが決定し、物語の方も1クール（13本）がすぎようとしている「機動戦士Zガンダム」。9話から、百式、ネモ、マラサイなどの新型MSも登場し、増々面白い展開を見せはじめているのだが、今だに「見ていてよく解らない」という声を聞く。そこで、番組企画書などを紹介しつつ、「機動戦士Zガンダム」を面白く見る方法をレクチャーしてみたい。

●「機動戦士ガンダム」は見ていますか?

基本的には、前作「機動戦士ガンダム」のTVシリーズか映画三部作を見ていることが必要です。プラモデルから「ガンダム」を好きになった人の中には、肝心の番組を見ていない人もいる様ですが、それでは解らないのが当然です。まずは、前作の〝面白さ〟を知っていることが大事なのです。一応前作の続編になっている訳ですから、それは当然です。今さら、「ニュータイプ」、「ジオン」って何?、ではこまってしまいます。ただし、「ニュータイプ」という理念については前作でも解りにくいとされた部分（これが作品テーマであるのにかかわらず）であることは確かです。〝人を理解する力を持つ人々〟が「ニュータイプ」であり、決して超能力を持つ「エスパー」ではないのです。実はこの〝誤解〟が、今回の「Zガンダム」ストーリーの発端でもあるわけです。

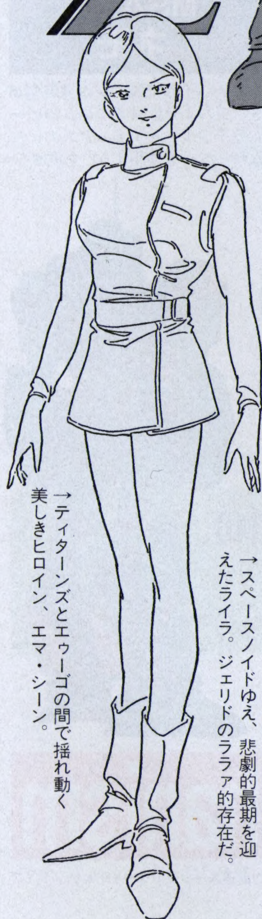
●富野作品を楽しむ3つのポイント。

企画書によると今回のストーリーは、「簡潔に言えば、7年程前に、ア・バオア・クーを脱出したシャア・アズナブルが、地球連邦政府に圧殺されているアムロ・レイたちと連合しつつ、現実の圧れきを抗して第二のニュータイプの存在を護持しようとする物語」である。つまり「Zガンダム」は、前作の7年程後の物語であり、荒廃した地球の再建設に名を借りて、再び地球の汚染を再開しようとする地球連邦政府に対し、地球はそのまま自然を戻して、人は全てスペース・コロニーに住むべきであると唱えるスペース・コロニーに住まざるを得ない人々（スペースノイドと呼ぶ）の意見の違いが〝争い〟の原因になっている。地球連邦政府は、スペースノイドたちがかつてのジオン公国の勢力と手を組み反地球連邦政府活動をしている事を危険視していた（特に、スペースノイドの発展型であるニュータイプには、自分たちの存在を危ぶくさせる存在として意味嫌う。その〝感情〟は、第7話でライラが死ぬ直前に感じたそれである）。そして、それらの勢力を掃討するために組織されたのが〝ティターンズ〟であり、これに対抗して組織されたのが〝エゥーゴ〟である。シャアは〝ティターンズ〟がかつてのジオンになることを恐れ、〝エゥーゴ〟に参加しているのだ。以上の基本設定さえ知っておけば、後は毎回見ていれば面白く見れるはずである。

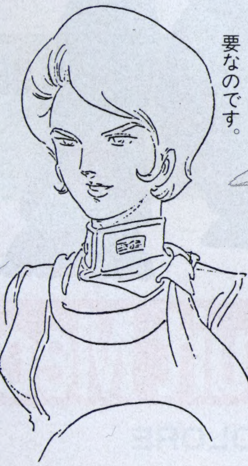
富野由悠季作品を見る時のポイントは、①物語の流れ（憧れのブライトを見ようとして、カミーユは、ティターンズと対立し、マークIIを奪い、両親を死なせてしまう…）と共に②セリフです。一言のセリフに物語の伏線やテーマなど大量の情報が含まれています。例えば、第一話でクワトロ大尉がカミーユに感応した時のセリフ「この感触……アムロ・レイ？ララァ・スンか？」で、クワトロがシャアであり、カミーユがニュータイプの素質を持つ新主人公であることが解ります。セリフを注意深く聞くことが重要なのです。



→ニュータイプゆえ、幽閉されている前作の主人公、アムロ・レイ。



→ティターンズとエゥーゴの間で揺れ動く美しきヒロイン、エマ・シーン。



→スペースノイドゆえ、悲劇的最期を迎えたライラ。ジェリドのララァ的存在だ。

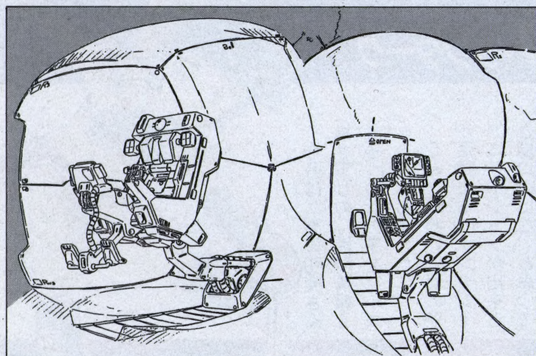


↑ジキルとハイドのように内省的な部分と攻撃的な部分を持つカミーユ・ビダン。

コア・ブロックからリニアシート・システムへ

Zガンダム世界のMSXメカニズム&システム

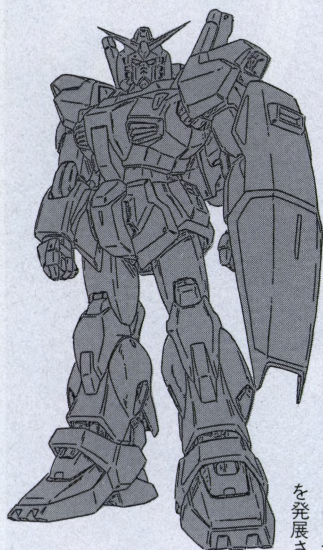
MECHA & SYSTEM



Zガンダムのデザインが発表される前は、かなりの人がマークIIをZガンダムだと思っていたようだ。オープニングで、タイトルの後にシルエットで出る顔がZガンダムで、シャアとカミーユが交差するカットの後に登場する飛行メカのシルエットがウェイブ・ライダーである。オープニングでは、マークIIが中心になっているので誤解したのかもしれないが、これも前作を見ていれば解ることだ。マークIIは、エルガイム・マークIIとは違い所詮は2番機でしかなく、装甲が弱い点など欠陥MSである。それでも、シャアやカミーユが使いこなすのは「ニュータイプ」ゆえである。B級ヘビーメタルがパイロット次第でA級ヘビーメタルに勝てるのと同様、片手のマークIIで、ハイザックを倒してしまうことでパイロットの優秀さ、つまりは「ニュータイプ」の能力を描くあたりが、富野作品の面白さであり、見るポイント③でもある。

●ZGとMSVを混合しないように。

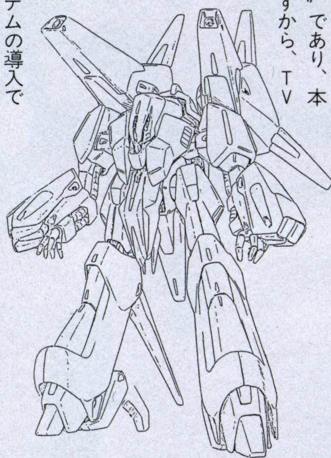
MSVが好きな人の中には、ジョニー・ライデンがTVシリーズに出ていると思っている人がいるが、このような混乱を無くすため「Zガンダム」を見る時には、MSVやMSXなど、プラモデルだけの設定を忘れることです。MSVやMSXは、あくまでもプラモデルの〝遊び〟であり、本来の作品には直接関係ない訳ですから、TVシリーズあるいは映画3部作の展開のみで、MSやMAの活躍を楽しみましょう。

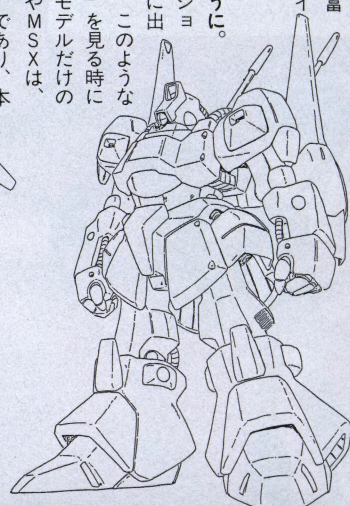


●新システムの導入

MSのシステムで前作と大きく違うのは、「重戦機エルガイム」で採用されたムーバル・フレームとリニア・シート・システムの導入です。コクピット内は、360度視界になり、エルガイム・マークII同様の展開が可能になります。（コクピット内の状態を簡単に言うならば、サンダーバード2号のコクピットを発展させたものでしょう。）

「Zガンダム」は、連続小説的な物語展開なので、一話でも見のがすと解らなくなります。できれば、毎回、リアルタイムで見るようにしましょう。見た上で、富野さんの原作（講談社刊）や本誌、コミック・ボンボン、アニメ誌などの情報を活用して下さい。





連邦	ジオン	ティターンズ	エゥーゴ
RX-78 ガンダム		RX-178 ガンダムMkII	
RGM-79 ジム		RMS-179 ジムII	MSA-003 ネモ
	MS-05 ザクI		
	MS-06 ザクII	RMS-106 ハイザック	
	MS-07 グフ	RMS-106 マラサイ	
	MS-09 ドム		
	RMS-09 リックドム		RMS-099 リックディアス
	MS-14 ゲルググ		
	MS-15 ギャン		
	MS-17 ガルバルディα	RMS-117 ガルバルディβ	
			MSN-00100 ヒャクシキ
			PMX-000 メッサーラ

MS、MAの型式番号表、RMSは連邦軍の量産機、RXは試作機、MSAのMSはエゥーゴ側で開発されたMSを示し、Aは製作したアナハイム社、MSNのNは、開発設計者M・ナガノ博士のNを示している。

Figure フィギュア Figure フィギュア Figure フィギュア

石井和夫 平行世界のユウ・シンターク

今月は、高田明美さん描き下しの「模型情報2月号」の女の子をフルスクラッチしました。

こんなかわいい女の子が活躍するファンタジーアニメーションが出来ると良いのにな、と思っていたら、エモーションのオリジナルビデオ「クリーミーマミ・ロンググッドバイ」では、優ちゃんたちが、劇中劇でファンタジーしてくれるらしいので楽しみですねー。

イラストレーション／高田 明美

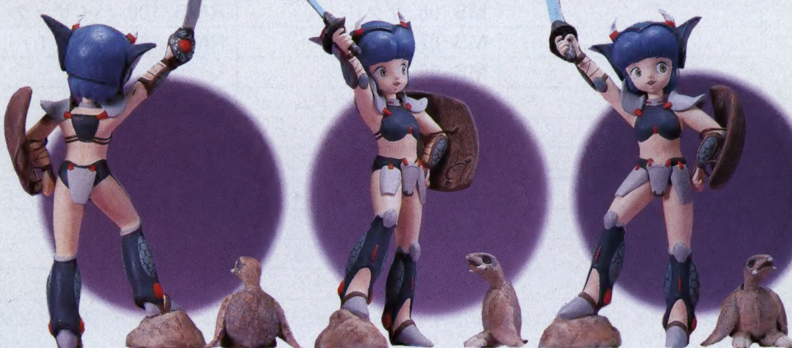


2月号の表紙を飾った高田さんのファンタジーイラスト











スパイラルゾーン SPIRAL ZONE

WRITTEN AND DIRECTED BY KAZUNORI ITO
CHARACTER DESIGNED BY AKEMI TAKADA
ILLUSTRATION BY HIROYUKI KITAZUME
MECHANICS DESIGNED BY RYO SAKUMA
JUN KATO
KUNIO OKAWARA
KAZUHISA KONDO
PRODUCED BY SATOSHI KATO
CO-PRODUCED BY KEN SUEKAWA

Scene 2
出撃

裸で横たわっている自分がいた。

白い清潔な部屋だ。が、そう思えたのは、一瞬、鼻腔をくすぐった消毒薬の匂いからの連想にすぎなかったかもしれない。

彼が認識できたのは冷たい光を放つルミネッセンスパネルの天井だけだった。すべての筋肉が弛緩して、横を向くことすらままならぬありさまなのだ。しかも、視界全体がひどく曖昧で、まるで、眼窩にゼリーをつめこまれたような具合だ。

それでも、意識は透明だった。

横たわったままで、彼は左の足首に何かがそっと触れるのを知覚した。ごく軽い何か……それは風に吹かれる綿毛のように、彼の足首でさわさわと震えていた。

目覚めている彼のすべての神経が、その何かに注がれた。

そいつが移動を始めた。くるぶしから脛、太ももの内側へ。得体の知れない小さな何かが、じわりじわりと這い上がってくる。

彼はそれを払いのけることはおろか、見ることすらできない。かすかな焦りに、彼の眼球が落ちつきなく動いた。

ゆっくりと、だが、確実に進んでくるそいつは鼠径部のあたりで幾つかに分裂した。あるものは腰骨からわき腹へ、あるいは背中へ。またあるものは腹から鳩尾へ、そして胸へ。それらは分裂を繰り返し、身体中に広がっていった。

彼は意識の中で身をよじり、呻き、喘いだ。たとえようもなく不快だった。胸元から首筋へ、腋下から腕へと容赦なく進んでくるそいつらがなんなのか、せめて見ることができれば、と、彼は懸命に頭をもたげようとした。

血管が膨れ、彼はたぎる血液の流れを聞いた。体温が上昇し、筋肉組織が静脈を押しあげるのを感じた。

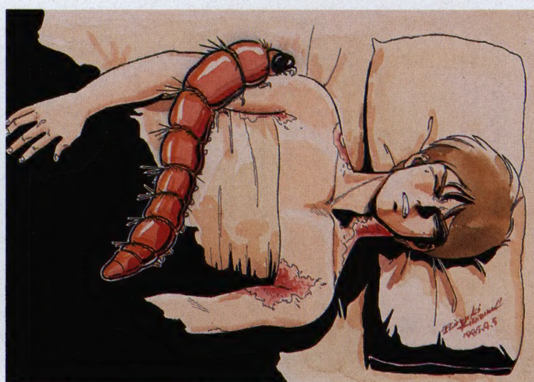
刹那、彼の身体が呪縛から解放された。

そして、彼は見た。

彼の腕にうねうねと盛り上がった透きとおった静脈の中を、何対もの脚状の突起をぞわぞわと蠢かせて沙蚕に似た虫が這いずっていた。

「リン、おまえの頭、やっぱ卵でいっぱいだったよ。こりゃ、つけ替えなきゃダメだな」

と、ギグが彼の前に差し出した頭蓋骨の内側には薄桃色の小さな粒々が、びっしりとは



りついていた。
彼――香住麟（かずみりん）は声にならない悲鳴をあげた。
「今朝も生き残れなかったな……」
露骨に不機嫌な声でそう言うと、出渕は麟に向けていたレーザー照準器装備コルト1990コマンダーのサムセーフティーをロックして、ホルスターに収めた。
「起きろよ。始めるぞ」
――夢だった。麟はのろのろと上体を起こし、自分の身体を見まわして、それが夢だったことに感謝した。こんなおぞましい夢に悩まされるのも《ゾーン》への出撃回数が増えてからのことだ。どうやら、ゾーンは物質ばかりでなく、精神をも侵蝕するらしい。
そこは、激しく人間を拒絶する〝禁断の地〟なのだ。
願わくば、ゾーンの存在そのものが夢であってほしい――悪夢からもどった現実に、また悪夢が待ちかまえているのでは、あまりにひどすぎる。そんなことを考えながら、麟はブルソリッドスーツを身につけて、仮宿舎にあてられた小学校の教室を出た。
校庭で出渕が待っていた。
「遅いぞ。体操をすませたら、ランニング六キロだ」
「……あんた、志願してSFG隊員になったのか?」
麟があくびをかみころしながらいった。
「生き残りたいからな」
「あん?」
「一般兵士にはアホが多すぎる。アホのまきぞえくらって命を落としたのでは浮かばれん。その点、SFGなら仲間がバックアップしてくれることはあっても、足をひっぱることはない。生き残れる確率も高くなる」
「考えてもみなかったな、そんなこと…」
「わかったら、おまえも俺の足をひっぱらんように訓練にはげめ。毎朝、おまえの訓練につきあわされるだけで充分迷惑な思いをしてるんだ。戦場に出たときに、これ以上の迷惑をかけんでほしい」
「……」
一応は自覚していることを、他人から改めて指摘されるとおもしろくなかったりするものだ。麟は彼の胸の内にある〝いつかぶんなぐってやるリスト〟の四番目から二番目へ出渕の名を移し、ニッコリ笑って体操を始めた。
退院以来、訓練の毎日が続いていた。
早朝五時から体力養成。
朝食のあと、地図判読、通信、格闘などの基本訓練。
午後に入って、銃器訓練、モノシードおよびマッドレミングの操縦訓練、スカイダイビング訓練、サバイバルテクニック講習、衛生訓練、時には水中破壊工作訓練まで、SFG第17分遺隊〝ファイヤーボール〟チームのメンバーが入れかわり立ちかわり、彼を指導した。
これらの訓練がゾーン内でどれほど役に立つか、麟には大いに疑問だった。おそらくサバイバルテクニックは何の役にもたたないだろうし、格闘技にしても、ゾーン内で、一体誰と格闘しろというのだろう。
が、ともかく、麟は黙々と訓練メニューを消化した。
「どうです、使えそうですか?」
窓からグランドの麟たちを見ているチーフ若菜の横で加藤がいった。
「特にどうということもない。ただ……」
「ただ、なんです?」
「昔、映画で見たんだが、ナポレオンは将軍を任命するときに、その男に尋ねたそうだ。〝おまえは運の強い男か?〟とな。戦うには技術も必要だが、それ以上に運も必要だ。ゾーンの中では特にな」
「彼は運が強いと?」
「まあ、そんなところだ。ちょうどモノシードライダーに欠員もあったし……」
慢性的な兵員の不足は深刻な問題になりつつあった。新たに施行された徴兵制度では、一八才から二六才の男子に兵役義務が課せられていた。しかし、少産少死の高齢化社会で対象となる男子の人口は総人口の五・八パーセント弱であり、様々な事情から実際に兵役に服せる者は四パーセントにも満たないのが現状だった。
それに対し、戦線は日本列島を南北に貫く約一八〇〇キロ。召集された兵員だけでは、とうていカバーしきれるものではない。
さらに、ゾーン内での兵員の消耗の激しさが事態に拍車をかけた。どの隊も兵員の補充が間にあわず、実質、小隊規模の名ばかりの中隊が多数存在し、作戦に支障をきたした。
この穴うめは、当然のごとく同盟国であるアメリカへの負担となって現われ、日本は外交上、またしても軍備増強の矢表に立たされることになる。
しかし、増強は事実上不可能だった。
一九九〇年代、日本の経済成長率は年平均四・三パーセントと安定した伸び率を保っていたが、ゾーン出現の翌年、二〇〇〇年にはマイナス成長に転じ、以来五年間、今だ回復の見通しもついていない。ゾーンによって世界地図が分断された現在、貿易大国ニッポンが立ち直る道はどこにも見い出せず、状況は悪くなる一方だった。
そんな中で、国土の20数パーセントをゾーンに侵蝕され、それでもなんとか治安を維持しているのは、むしろ奇跡といってよかった。
ゾーンの侵攻が日本海側から始まったこと、生命産業（バイオ・インダストリー）の急速な発展が幸いした。
もし、ゾーンが主な工業地帯の密集する太平洋岸から広がっていたならば、すでに日本は壊滅していただろうし、遺伝子工学の成果である新種の農作物が食料自給率を引き上げていなかったならば、同じく、今の日本は存在しなかっただろう。
とはいえ、国民の飢えをしのぐに充分な穀物は、あいかわらず輸入にたよらねばならず、輸入量は大幅な制限をうけていた。
一方、ゾーンのために土地、家屋を失い、難民となった日本人の数、約二〇七〇万人。
さらに、資源、エネルギー問題。ゾーンの影響による異常気象など、山積する難問をかかえて日本はまさに瀕死の状態にある――破綻の時が訪れるのは時間の問題だった。
野菜が主体の美容食のような昼メシをすませると、麟は午後の訓練にそなえてモノシードの点検を始めた。
単輪戦闘バイク〝モノシード〟全長一・六メートル、全高一・五メートルと見かけはきわめてコンパクトだが、こいつは――化物だ。
不整地走行性に優れ、最高時速は実に二八〇キロ! ブースターを装着することにより浮揚艇からの降下作戦も可能。安定性を向上させるために、内蔵されたタービンコンプレッサーがタイヤの圧力を一定に保ち、ブレーキング時にはセンサーが車輪速度を読みこんでマイコンが一秒間に十数回のポンピングを指示するなど、安定性も充分考慮されている。強靭な肉体と超LSIの連係があって、初めてその存在が可能となった高機動型汎用バイクなのだ。
麟は視線を感じて顔を上げた。モノシードの点検を続ける麟をヒラタが見おろしていた。作業ロボットを監視するセンサーのような冷たい眼だ。
「なにか?」
短かい沈黙があって、
「なんでもない。邪魔ならむこうへ行こう」
ヒラタは麟に背を向けて、その場を離れた。
「……なんなんだよ、ったく」 思わず麟の口がとんがって、つぶやきがもれた。
「気にするな。あぁゆうやつなんだ」
陽だまりに腕枕で寝そべっていたノーマンシンクレアがのそりと起きあがって麟にいった。
「別に気にしちゃいませんけどね」
「ヒラタはモノシードが嫌いなのさ」
「まさか!?」

麟にはノーマンの言葉が意外だった。ヒラタは誰が見ても、マシンと一体になれる超Aクラスのモノシードライダーだったからだ。

「やつは電子部品をまるで信用していない。相手がオイルの匂いのする機械なら、多少だだをこねても、いうことを聞かせる方法はいくらでもある。だが、物と物との間に、畑ちがいのエレクトロニクスが入りこんでくるとなると話は別だ。あの黒いチップがだだをこねたときには、ひどく危険なことになる。それはオレにもわかる。けど、やつの考えはもっと徹底してるんだ。だから、やつはLSIなしには走れないモノシードを軽蔑してるし、それに乗る自分まで軽蔑してる」

「考えが古いんスね」

「言うと思ったよ。だが……」

ノーマンが苦笑した。笑うと年より五つは若く見える。妙に人なつこい笑顔だ。

「むずかしいところだな。走る場所がゾーンでなければ、なんでもないことなのかもしれんし……ワタナベの話を聞いたか?」

「いいえ、初めて聞く名前です」

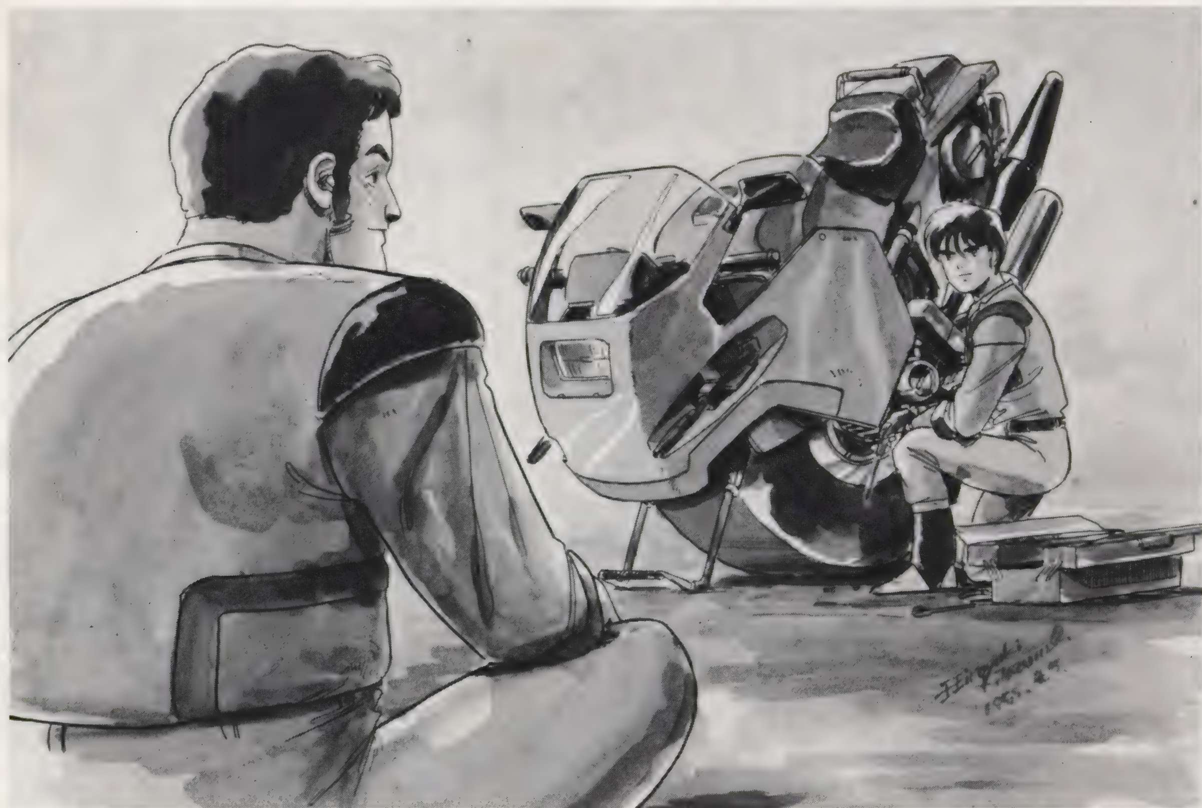
「おまえの前に、そのモノシードに乗ってた男だ。作戦行動中、突然、モノシードがバランスを崩してワタナベは放り出された。90キロぐらいのスピードだったと思う」

ノーマンは言葉をきって、麟の反応をうかがった。

「……死んだんですか?」

「ブルソリッドスーツのおかげで死なずにすんだ。オレがマッドレミングの副座にひき上げた。〝足が折れてるんじゃないか?〟っていうとやつは〝いいや、平気だ〟と笑ってた。作戦が終了してベースにもどると、医者がやつのブーツを脱がせようとしたんだ。だが、結局、ブーツは切り裂いた。すると、骨が見えたよ。

近くにいたDモニターがやつのモノシードを回収してたんで、原因をとことん調べた。で、LSIチップに不良品が見つかった。チップそのものに問題があったのかそれとも、



ゾーンの影響でダメになったのかそこんとこはわからん。が、とにかく、そのちっぽけなチップが元で、ワタナベはもうモノシードに乗れなくなった。……オレは思うよ。ゾーンの中じゃ、なるべく単純な構造のものを使うべきじゃないか、ってね。なんにしても、あそこじゃデリケートなものほど影響を受けやすいみたいだしな。タバコないか?」

「俺、吸いませんから」

「そうか」しごくあっさりいうと、ノーマンは自分の胸ポケットからヨレヨレになったタバコを取り出して、火をつけた。

「ちょ、ちょっとぉっ!」麟が大きな声をあげてノーマンに向き直った。

「怒るなよ。からかったわけじゃない。このタバコ、とんでもなくまずいんだ」

「タバコのことなんかどうでもいいです! これ——このモノシード、そのワタナベさんが乗ってたっていいましたよね!?」

「心配するな、もうすっかり修理してある——はずだ」

「はずだって……あのねぇ——」

「乗っててなんともないんだろ?」

「まあ、一応」

「じゃあ、なにが心配なんだ? どうしても気にかかるなら、チップを基板ごとそっくり全部、自分でとっかえちまうんだな。ホレ彼女なら安くしてくれるんじゃないか?」

と、ノーマンが顎をしゃくった方を見るとちょうど、ギグが二人の方に駈けてくるところだった。

ギグは、いわば前線のなんでも屋だ。すべては彼女の父親がAFVのドマニアだったことに始まる。

趣味が昂じて、彼は軍が払い下げたスクラップ同然のDモニターを買い入れ、生活のすべてを投げうってその修復に全力をそそいだ。二年後、彼は彼が築いた小さな会社と妻を失い、手元には見事に再生されたDモニターとギグだけが残った。彼は生活の手段を捜さね

ばならなかった。そして、それにDモニターを使わない手はなかった。
それから、この二人の親娘が前線で名前を知られるようになるまで、あまり時間はかからなかった。
彼らは戦場にDモニターを駆り立て、破壊された兵器をせっせと回収しては、まだゾーンに犯されていないジャンクパーツを選び出し兵士たちに安く売りさばいていたのだ。
これはSFGの戦士たちに好評だった。ゾーン内で酷使される彼らの兵器は消耗が激しく、正規ルートで新しい部品を手に入れるには時間がかかりすぎた。そのつなぎに彼らが持ってくるジャンクパーツは最適だったのである。戦場で、自分の命を守る兵器の確実性を思えば、いくらかの出費など、とるにたらない問題だった。
物資のリサイクルはけして悪いことではないし、二人は時に――麟の場合のように――兵士の救出に活躍することもあったので、何かとうるさい軍当局も、親娘の商売には目をつぶっているようだった。
が、五ヶ月ほど前、父がゾーンに喰われた。ギグは一人になっても商売をやめなかった。
「よお、すっかり元気そうじゃないか！」
うっすらと汗をうかべたギグが、息をはずませて白い歯を見せた。
「ん、まあな、あンときは、ドモ……」
麟が照れたように口ごもる。
「くっ、バカかおまえ。なに赤くなってンだよ。ノーマン、なんかいるもンは？」
「オレは間にあってる。けどリンが――」
「いいっ、いらん！　なぁんもいらん!!」
麟はあわてた。ゾーンで拾ってきた電子部品など、自殺願望でもないかぎり、危っかしくて使えるものではない。
「なんだよ、遠慮するなよ。まける！　安くする！　だから、なんか買え!!」
「また今度な。俺、金ないし、時間だし、遅れるとブチが怒るから」

いいつつ行こうとした麟の前に、ギグが立ちふさがった。
「イズブチなら、今は行かない方がいい。遅れてった方が感謝されると思うけどね」
「なんで？」
「彼女と逢ってる」
一瞬、ひどく場違いな言葉と出くわした感じで、麟の反応が遅れた。
「信じない。あの性格で彼女がいるかよ」
「あー、知らねぇぞ。オレはとめたからな」
ギグの声を背中で聞いて、麟は思った。
〝ホントならホントでいい。どうせ何かの理由で嫌味は言われるんだ。なら、どんな彼女か見てやろうじゃないか！〟
木洩れ陽の中に立つ二人は映画のスチール写真そのままに、似合いすぎるほど似合っていた。隊の仮宿舎となり、子どもの声が聞かれることのなくなった小学校の体育館裏。出渕がユニフォーム姿でなかったら、ふらりと立ちよった旅行先の学校で、幼なじみの二人――後輩の彼女と初恋の先輩とが昔を懐しんでいるようにも見られたかもしれない。
「由良、いつまでこっちにいられるんだ」
「今夜には帰るつもりよ」
由良と呼ばれた色白の少女が、うつむいたまま、靴の爪先で根方の土をおもちゃにしながら答えた。透んだよく通る声だ。
「そうか……東京の方は変りないか？」
「あいかわらずね。電気の使用制限が始まったばかりの頃は、ずいぶん危機感あったけど、人間て慣れちゃうとだめみたい」
「高校にはちゃんと行ってるんだろ？」
「やだ、つまんない質問ばっかり。高校なんて、徴兵制撤廃闘争で、行っても授業にならないんだから」
「馬鹿が！　まだそんなことをやってるのか!?　これがどんな戦いか、なぜ、わからんのだ!!」
本気で怒る出渕を見て、由良の口元に笑みが浮かんだ。が、それはすぐに消えて、



「ねぇ、あたし、一度でいいからゾーンに入ってみたいな」
「その案内役、よかったら私がいたしましょう……」
「麟!?」
体育館の横手に麟が立っていた。
「貴様、どういうつもりだっ!?」
「なぁーんて、冗談だよ。いつでも始められるようにしてあるんで、呼びに来た」
悪びれもせずにそういって、麟は由良を見た。いささかショックだった。もちろん、彼の主観だが、彼女は出渕にはもったいない美人だった。出渕とて美形ではある。が、彼女の方が役者が一枚上なのだ。
「わかった。すぐに行くから、おまえは向こうで待ってろ」
由良を見て、麟はちょっとばかりごねてみたくなった。
「やだね」
「なにぃ!?」
「あんたいつも時間にうるさいもの。チーフが言ってるだろ〝SFGに階級はいらない。必要なのは、ただ、任務を遂行するという意志と行動だけだ〟って。俺とあんたは対等のはずだよな。だから、あんたも俺を待たしちゃ、まずいと思う」
「思いあがるな！　貴様はまだ訓練隊員だ」
「そう、訓練・隊員だよ」
二人の間に険悪な空気が流れた。出渕が麟に跳びかかろうと、ジリジリと体重を移動しはじめたとき、
「お、ここにいたか。チーフが呼んでるぜ。どうでもいいけど」
両手をポケットにつっこんだジェレミー・グレイがぶらりとやってきて、二人の間の緊張が消しとんだ。
「……そういうわけだ。オレはもどる。みんなによろしくな、由良」
「待って兄さん」
「兄さん!?」　ジェレミーの後をついていこうとしていた麟が大迎に振り返り、二人を穴があくほど見較べた。
「あたし、もうしばらくこっちにいるわ。それから、リン？　さっきの案内役の話、あたしは冗談とは思わなかったわよ。いい？」
いいも悪いもない。人を使うことに慣れている人間だけが持つ、有無をいわせぬ態度だ。一抹の驕りさえ彼女にはアクセサリーのひとつにすぎなかった。
「オレは知らん」



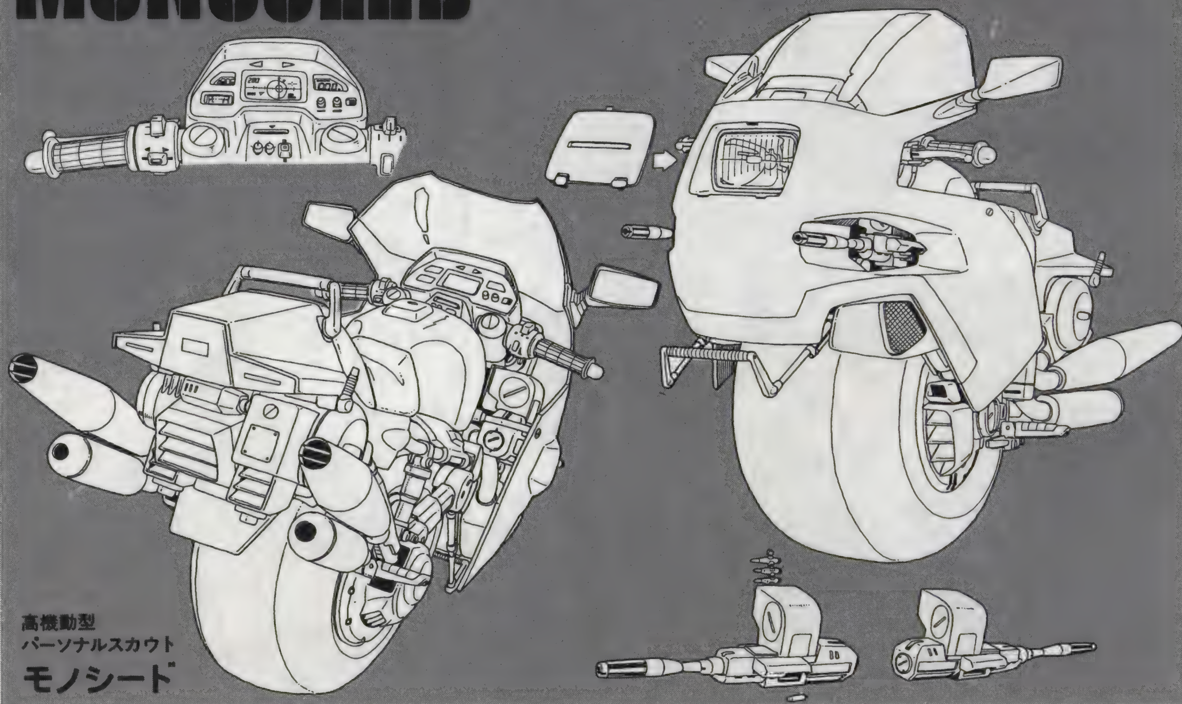
出渕はさっさとその場を逃げ出し、後には麟と由良だけが残された。
「早く来いよ、どうでもいいけど」
麟はジェレミーのその言葉に救われたような気さえした。が、それと同時に、由良に対して、まんざらでもない気持ちがあったことも、否定はできなかった。

無残に破壊された二輛のリカオンを背に、チーフ若菜が一同を見回して口を開いた。
「今日の午前、いつもどおりリカオン三中隊が定期出撃した。そして、帰ってきたのがこれだ。ここにある二輛のみ、あとは未帰還。だが、納得のいかん点がある」
「言っていいかな」
地面に腰を降ろした隊員たちの後に立っていたギグが手を上げて、若菜が発言を促した。
「オレさ、ずいぶんやられたやつを見てるけど、違うんだよね。レギオンにやられたんでもないし、もち、ゾーンに同化しかけたわけでもない。その大きな傷はレーザーに――レギオンの擬似レーザーじゃなくて、正真正銘のレーザーにやられたもンだと思う」
「それだよ」 若菜は大きく頷いて言葉を続けた。「リカオンはレーザー砲を載せてない。したがって同志打ちはありえない。とすると……こいつは何にやられたか、だ」
「ゾーン内に我々の知らない敵が現われたということですか?」と、加藤。
「チーフ、知ってるんでしょ。どうでもいいけど……これに乗ってたやつは見たはずだし」
「一人死亡、三人重傷。生き残った三人の報告は一致している。どうも、信じがたいのだが……」
「なんと言ってるんです?」 我慢しきれなくなったように出渕がいった。
「……〝虫……虫が来た〟と」
麟はゴクリとつばを飲みこんだ。虫――今朝の悪夢が現実にとってかわろうとしている。無意識に握りしめた拳が、ジットリと汗ばんでいた。
「我々は、確認のため二〇分後に出撃する。麟、おまえも正隊員として参加しろ。いいな」
「は、はい!」
「以上、解散!」
ゾーンとの戦いは、今、新たな局面を迎えようとしていた。

つづく

MONOSEED

不整地走行性に優れ、極めて小回りがきくため広汎な任務に使用されている。特に都市圏に多く見られる多層式ベルトウェイ複合体を走り回れる車輛は他にない。フロントカウリングは17㎜耐衝撃セラミック製で用途に応じ数種ある。



高機動型
パーソナルスカウト
モノシード

▶成田亨◀ SPECIAL DESIGN WORK NO,4

ゴジラがこわしたビル

1954年春だったと思います。私は武蔵野美術学校の彫刻科の教室で一人で彫刻を作っていました。私は彫刻科を卒業して研究科にいました。それも本人が研究科と思っているだけの話で本当は居そおろうだったようです。彫刻はモデルを使わないと出来ません。モデルは高いので研究科などと自分達で勝手にきめて卒業しても学校へ行っていたという訳です。もっとも彫刻科といっても一学年二名から三名、だから一年から研究科から一教室でした。それはもう家族と同じでした。

東宝でアルバイトをしているはずの富樫が息を切って教室へ入って来ました。富樫は二年後輩でした。この鬚もじゃらの男が神聖なる彫刻のアトリエに映画のアルバイトの話を持ち込んだのです。それも怪獣映画などと言う聞いた事もないとっぴようしもない話を。

間に合わないからすぐ来てくれと言うのです。ゴジラと言う怪獣がこわすビルを作る為に。家へも帰らず電話だけをして東宝撮影所へ行きました。行ったが最後帰してもらえません。徹夜です。石膏だらけの徹夜です。水道の水を汲みに行くに遠いので、どぶ川から水をすくって石膏をときました。こんなひどいバイトはもうやらねえぞ、と思い乍ら何とか間に合わしたようです。ゴジラは私はピンチヒッターでほんの何日間か行っただけです。

当時私の心は彫刻のみに燃えていましたが彫刻家では食って行けないのも充分承知していましたので映画の仕事にもかなりの興味はありました。

青森高校の頃から演劇部に入って舞台装置も少しやりましたし、兄が俳優座の研究生だったりして高尾山中腹のアパートには俳優座の人達がよく来ました。無名時代の安井昌二とか小田切みきさんとか八橋卓とかです。高尾山中腹の閉鎖中の脳病院を借りて住んでいたのです。脳病院の病室で夜を徹して、演劇論をやり又武蔵野美の友達とは彫刻論を斗かわしていたのです。

1955年春。またゴジラをやるんだけど今度は最初から石膏造型スタッフに入ってくれと言われて武蔵野美彫刻科グループが出来たのです。

私達の仕事はゴジラがこわすビル造りです。

今回は大阪の中之島附近をこわすという事で、みんなでビルを一つづつ担当しました。私は大阪市庁です。約2ケ月位この制作にかかったと思います。このグループは素晴らしく意欲的なグループでしたから、毎日ミーティングを重ねて前回より良いものにしようと張り切っていました。良いという事は、見栄えが美しいという意味もありますが、何よりもうまくこわれるという事です。目的はリアルにこわれるという所にあるのです。私達は前作のゴジラでやった石膏板を立てて組み合わせて行く方法を止めて、ベニヤ造りのパネルの間に、石膏を流して行く方法を取りました。家を建てる時のコンクリート流し込みと同じです。

デザインに従って大工さんが作ったパネルが出来ました。これに丹念に分離剤（油）を塗ってステージの市庁が立つべき所にこのパネルを外側と内側に立てるのです。当時の建物は鉄骨でなく鉄筋でしたので細いヒューズに色を塗って何本も立てます。針金だと強くなってうまくこわれないからです。又こわれた時ヒューズが光ると困るので色を塗るのです。これだけの準備をしてからいよいよ石膏の流しこみです。石膏も割れた時白い色が出ると失敗なので墨汁を入れます。先づ下の方の流し込みは石膏だけにします。一度流した





GODZILLA BRAKED BUILDIND

ら砂をまきました。次に流す石膏とうまく分離させる為です。上の方の流し込みになるに従って石膏に石灰プラスターを混ぜるのです。石灰プラスターは弱いからです。最後の流し込みは半分づつ位にしました。この今にも倒れそうな壁面を注意に注意を重ねてパネルをはずします。壁面だけが立つと、これに蛇腹とかテラゾーとかコリント風の柱とかを着けて行きます。これもバラバラに折ってから着けます。表面をプラスターで修整して石膏作業の終りです。あとは着色をして、窓を入れたり文字を張ったりして完成です。

この様な作り方をすれば、ゴジラとアンギラスの体当たりで自然にリアルにこわれる筈です。

若い彫刻家達が前例のない課題に取り組んで何とか解決したようです。富樫達の大阪城は四苦八苦していましたが私達はそれにかまわず美津濃ビルと富士銀行ビルへと移りました。

今年春ひさし振りのゴジラの再来を見ました。立派なセットが出来ているのですが、こわれる技術を見て、私達のやった方法をなつかしく思い出しました。

この石膏グループはそれから何年か東宝、松竹、大映を渡り歩いたのです。そして今ではそれぞれ立派な彫刻家になっています。富樫一は亡くなりましたが、赤荻賢司、東喜久男の自由美術の組と二科会の権藤武政、新制作の佐藤祐司、照井栄、そして私と言ったメンバーでした。

それ以後私は映画の美術監督にもなって随分たくさんのビルをこわして来ましたが、このゴジラの逆襲で作った方法は二度とやっていませんし、他の映画でも見た事がありません。製作に日数がかかり過ぎて経費がかさむのと約一ケ月ステージをこれだけにおさえられるからです。しかし何時かはもう一度この方法を快みてビル破壊の決定シーンを撮りたいと思っています。





秘密戦隊ゴレンジャー

■東映戦隊シリーズの原点

●放映期間／昭和50年4月5日～52年3月26日（全84話）、●製作／東映、●放送局／テレビ朝日、●スタッフ／原作・石森章太郎（掲載・小学館）、企画・萩野隆史(テレビ朝日)、吉川進、平山亨、音楽・渡辺宙明、脚本・上原正三、高久進・新井光、曽田博久、平山公夫、監督・竹本弘一、山田稔、田口勝彦、北村秀敏、折田至、小西通雄、特撮・矢島信男、技斗・大野剣友会(1話～66話)、J・A・C(67話～84話)●出演／アカレンジャー海城剛・誠直也、キレンジャー大岩大太・畠山麦、キレンジャー熊野大五郎・だるま二郎（55～58話)、モモレンジャーペギー松山・小牧リサ、ミドレンジャー明日香健二・伊藤幸雄、アオレンジャー新命明・宮内洋、江戸川権八・高原駿雄、イーグル連絡員加藤陽子・鹿沼エリ、黒十字総統・安藤三男↓八名信夫、ナレーター・田中信夫↓大平透

〈仮面怪人によって世界征服を企む黒十字軍に対し、地球防衛組織イーグルの五人の若者が、特殊マスクと強化服に身を包んで戦いを挑む〉

見慣れぬ決めポーズ…これを知っていたらあなたはかなりのゴレンジャー通です。この決めポーズは技斗がJ・A・Cにかわった67話以後のもの(殺陣師は山岡順二)アカレンジャーは大葉健二でした。



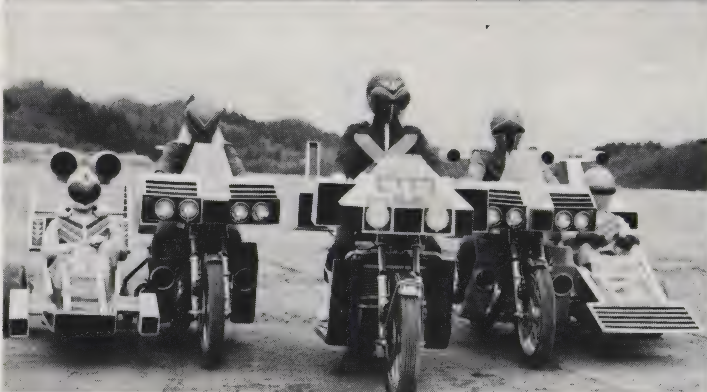


右が石森章太郎によるデザイン画。仮称が〝レッド1〟(バイオマン？）となっていた。企画時では、モモレンジャーがホワイト4だった。上は、最初に作られたコスチューム。マントが長く、腰のロケット（バーディ）が固定になっている。アカを除く残りのコスチュームはビニールレザー製で、アクションがやりにくいため撮影には使用されなかった。また、アイマスクの周囲に銀のフチどりが無く、えりの長さも違う。

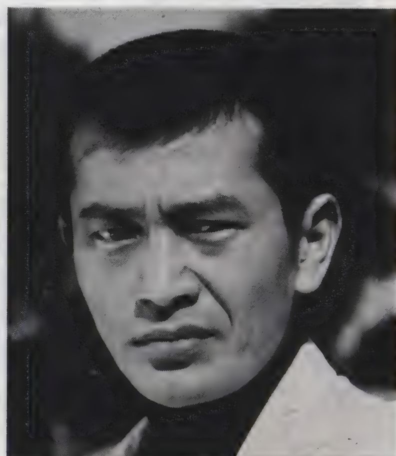
造型は「仮面ライダー」のコスチューム等を手懸けてきたエキスプロダクションによる。

嗚呼！懐かしの特撮ヒーロー達





▶ゴレンジャーの足となる三台のマシーン。(上)グリーンマシーン、レッドマシーン、ブルーマシーン。後半からは、(下)グリーンS(スター)、レッドS(スター)、ブルーS(スター)(総称はSマシーン)にかわる。車輛提供は、スズキ自動車。



▲海域剛役の誠直也（若いッ）現在は「特捜最前線」でおなじみ。ベルスターの早川絵美さんの旦那サンです。



▲印象的な仮面怪人をあげるとすれば、なんといってもこの鉄人仮面テムジンだろう。声は帝王フビライの飯塚昭三。



上が42話まで登場した万能戦闘機バリブルーン。左は43話以降活躍したバリドリーン（ロばし部分にバリタンクを収納）。



▶紅一点モモレンジャーの小牧リサ。あのくいこむようなホットパンツを楽しみに見ていた人もいたんじゃない……？



▲バリドリーンと共に登場するバリタンク。ミニチュアだけでなく、実車も製作されている。マジックハンドにはゲンコツのような手をつけることもある。





エモーション・ビデオフォーラム

EMOTION VIDEO FORUM 出張版

限定生産にて苦情を多数いただいた「永遠のワンスモア」のレーザー式ディスクが、マスターを再製作し、ジャケットを一新して、改訂版として5月28日発売。(9,800円)

マミのフィギュア大募集

ユウ

マミ

一見すると、ラウンドバーニアン風あり、ヒロイックファンタジー風ありのこのキャラ設定は実は、現在製作進行中のオリジナルビデオ「クリィミーマミ2・ロンググッドバイ」のコスチュームなのです。

今回は、低予算のSF映画の製作現場を舞台にした新作となるのですが、その映画というのが「ターミネーター」よろしく、機械と人間のそれぞれの世界の運命を背負った4人の美女の激突!?という、いささか過激なものである為、こうしたハードな設定になっているのです。

もちろん特撮映画の現場風景を描くわけですから、撮影用ミニチュアの組立てシーンとか、ブルースクリーンでの合成といった、「シネフェックス」の読者ならおなじみの風景もふんだんに出てくることになるわけです。

前作「永遠のワンスモア」ではフォログラフのみで、実際には登場しなかったマミですが、今回は本当に登場しますのでお楽しみに。

話自体の設定が1986年、すなわちハレー彗星がやってくる来年となっていますが、登場キャラクター達も、それに応じて成長していますので、そうしたキャラの変貌ぶりも見どころの一つとなっています。

今、スタッフが乗りまくって製作中のこのマミの新作「ロンググッドバイ」は6月5日に登場しますが、それを記念して、「クリィミーマミ」のフィギュアコンテストを行いたいと考えています。脚本の伊藤和典さん、キャラクターデザインの高田明美さん等、スタッフの方々に審査をお願いし、優秀作には、記念品を贈呈いたしますので、マミや優、その他「クリィーミーマミ」のフィギュアなら何でも結構ですから、6月5日までに、写真でMJ編集部までお寄せ下さい。結果は模型情報8月号にて発表いたします。(なおお寄せいただいた写真は御返送致しませんので御了承下さい。)



こちらはVHDディスクのジャケット。LDより一足お先に発売中！（9、800円）



マミの音楽編「ラブリーセレナーデ」。名場面を圧縮、新作を追加した30分の構成にて発売中！（6,000円）

めぐみ

4月5月 新製品

HOBBY
ホビー事業部

1 機動戦士Zガンダム 1/100スケール ガンダムMKII



ティターンズが開発したMS。各関節部にポリキャップ使用。金属シャフトを使用して親指を除く指が可動。ビームサーベル2本、ビームライフル、バルカンポッド付。
★5月発売予定　★小売価格¥1200

2 機動戦士Zガンダム 1/144スケール リックディアス



エウーゴが独自に開発したモビルスーツ。クワトロバジーナ（シャア）が使用した機体は赤く塗られている。ポリキャップ使用。ビームライフル等のオプションパーツ付。
★5月発売予定　★小売価格¥700

3 パロチェンマン ケンシロウ



なんと、ケンシロウがパロチェンマンに加わってしまった。レバー操作で右腕可動。デフォルメシンとユリアのおまけ付。
★5月発売予定　★小売価格¥400

4 パロチェンマン シン



ケンシロウの宿敵・シンも仲間に加わったレバー操作により右腕可動。デフォルメされケンシロウとジード付。接着剤不要。
★5月発売予定　★小売価格¥400



5 モノグラム製 1/24スチール '57年シェビー・ハードトップ

アメ車ならではのクロームメッキが美しい。スタンダードとホットロッドの選択式。
★5月発売予定　★小売価格¥2300



6 モノグラム 1/25スケール マセラティ3500GT

ドア、ボンネット、トランク開閉自由。エンジン部再現。シャーシ部も精密再現。
★5月発売予定　★小売価格¥2300



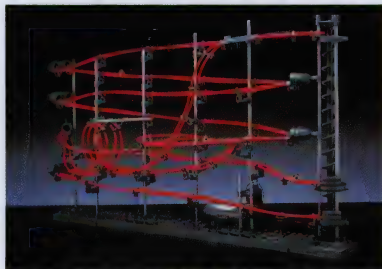
7 モノグラム製 1/24スケール '69年カマロZ28

アメ車がアメ車らしかった頃の一台。ボンネット開閉。チューンナップタイプ
★5月発売予定　★小売価格¥2300

※商品の発売日・小売価格および仕様は都合により予告なく変更されることがありますのでご了承下さい。

マミート・EL 出版

スペースワーププフラットデッキ



アダルトな空間を演出する小道具として人気のスペースワープの新製品。レールカラーは、レッド、イエロー、半透明の3タイプ。
★好評発売中　★小売価格￥4000

シネフェックスNo.9　2010年



特撮ファンのトラの巻。2010年の特撮テクニックが一目瞭然。(通販をご希望の方は送料込1550円を現金書留でＭＪ編集部シネフェックス係までお申し込み下さい。)
★好評発売中　★小売価格￥1300



ポピー特機事業部

1 デフォルメヒーローシリーズ



ザブングル、ビルバイン等人気ロボットをデフォルメしてシリーズ展開。
★5月発売　★小売価格￥100

2 デフォルメマクロスシリーズ



根強い人気のバルキリーもデフォルメの仲間に加わりました。タイプいろいろ。
★5月発売　★小売価格￥100

8 ザ・ウインチロボ ジェットヘリ





ジェットヘリがモーターで走り、ウィンチで上昇、ロボットに変形してモーターで歩いてしまうすぐれメカ。
★4月発売中　★小売価格￥4300

POPY

ポピー特機事業部

DXポピニカ シャトルベース



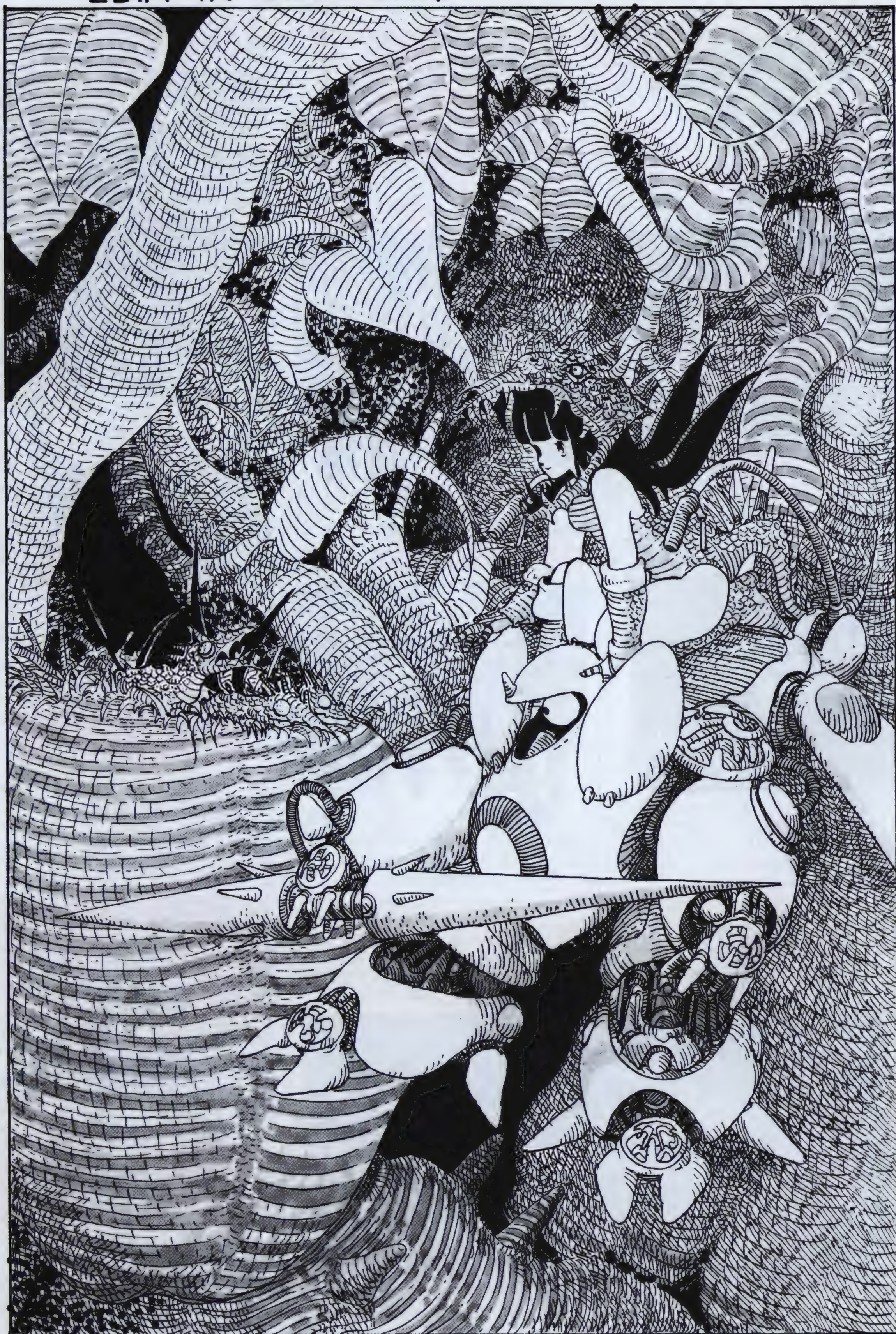
電撃戦隊チェンジマンに登場するシャトルベース。中にチェンジロボが格納される。ロボットは合体変形が可能。
★4月発売中　★小売価格￥2980

いいMONO見つけた　TIN TOY CAR

これは新製品じゃないけど編集部が気に入ったので紹介しちゃう。種類は、写真の1950年型キャデラックを初め4種。次期企画はTバードだそうだ。フィフティーズ製。￥4800。

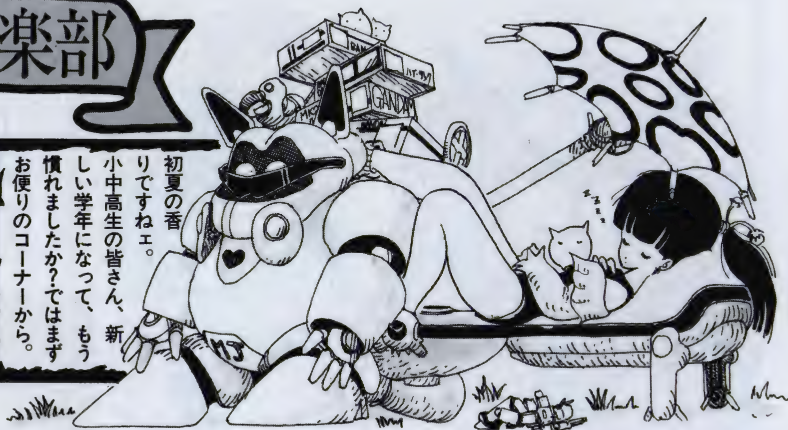


ELIA IN OTHER DAYS



ドラゴン　レディ　　後藤 啓介 & 加藤 洋え

プラモ個性派倶楽部



初夏の香りですねェ。小中高生の皆さん、新しい学年になって、もう慣れましたか?ではまずお便りのコーナーから。

■**たのもーお**

唐突ですが、(掟破り)の「フルスクラッチ」について質問したいのです。僕はコミックボンボンの「プラモテクニック教室」で、フルスクラッチについて読みましたが、実際に今ひとつ作る事が出来かねています。どうか基礎・応用のテクニックを僕に伝授して下さい。おねがいします。

愛知県名古屋市　久保田孝行(16)

何を指して「フルスクラッチ」と言っているのかが、明確ではありませんネ。要はパーツを手作りして、組み上げる事だと思うけど、手作りパーツの場合、左右対称のゆがみを減らす事が、とても難しいし、パーツをいざ組み上げた時に、全体のバランスがどうなっているかが、結果的には重要です。これはかりはケースバイケースなので、あらゆるやり方が存在します。「スクラッチビルドの基礎」と言う前に、プラモデルをキチンと仕上げる事が先決です。まあ色々な方の意見をうかがってみましょう。

とにかく図面です。図面をちゃんと引いてそれを見ながらやる事です。　**千草**

こりゃあ根気です。辛抱です。パーツ精度や仕上げとのたたかいです。　**モデラー一同**

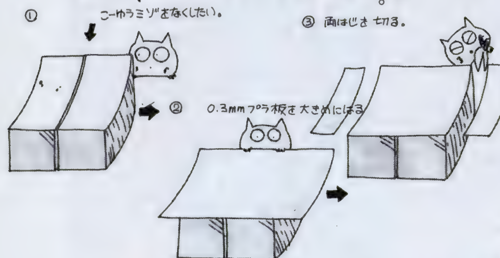
■**楽ですよ**

こんにちわ、ぼくは前から思っていたんですけど、プラ板の使い方がわからないんです。と言うのも、プラ板にはツルツルとフラットの面がありますよね。これ、改造に使うときは、どっちを表にすればいいのでしょうか?表と裏で、塗料ののりでも違うのでしょうか。

ところで、ぼくは凹面のパテ盛りとヤスリがけは苦手なので、0.3㎜のプラ板をその面全体に貼りつけてしまいます。余分なところをカットするだけで、キレイに仕上り「わーい」なのです。

東京都北区　伏木田修二(16)

プ、プラ板の表裏!?すごい発想だ。そりゃまあ、平面の仕上げをサボりたい時は、ツルツルを表にするようにしてるけど、たいがいは後からペーパー処理をするケースが多いので、ほとんど区別しないけど……。でもこの質問、ほとんどランナーから切る前に塗装するのか、切った後かってのと一緒だと思うんですよネ。もう一つの方は、先月号の凹モールドの合わせ目対策と同じ、このやり方は覚えていると便利ネ。　**モデラー一同**



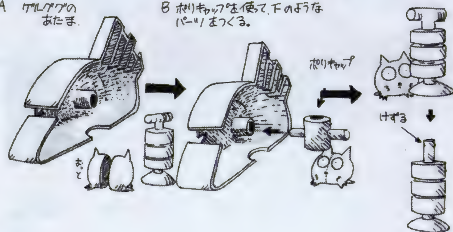
■**ゲルググの首**

ふっふっふ「プラモ個性派クラブ」やりましたね!私はこれを待っていたのです。他のモデラーや有名モデラーの新しいテクニックが聞ける!これからが楽しみです。さて本題ですが、ポリキャップの応用です。

下図のように、1/144MSVゲルググキットを例にとると、頭の受け側に1/144バイファムのポリキャップをはめるのです。

当然ポリキャップの幅に合わせて、多少軸受けを削ってやる必要はありますが、次に首のパーツを図の様に削ってやります。こうすれば頭部はABCでも、好きな物を取り付ける事ができるのですよ。

兵庫県神戸市　田中浩一(18)



いやあこれは、可動ロボットエイジならではの発想。しかも簡単で誰にでもすぐに出来そうな所が素敵です。ポリパーツとプラパーツは、接着する事ができないため、物理的にポリパーツを固定する「関節」のアイデアができたわけですが、これをもっと発展させれば、自分だけのカスタム可動キットも作れると思います。　**モデラー一同**

■**ちょっと発見**

ペーパーがけをしたあと、西洋紙(わら半紙)でパーツを強くこすります。するとパーツはツルツル。スジ彫り面をコンパウンドで磨くと、ミゾがつまってしまいますが、この方法なら大丈夫です。　**弘前市　大島智洋**

ピンバイスドリルをなくさないように、私は特に1㎜以下の物は磁石で固定しています。　**大分県豊後高田市　上原守(18)**

ナルホド。大島君の場合、わら半紙だとペーパーの3000～4000番に相当すると覚えておきましょう。仲々スルドイ発見でした。上原君のも正当。海外モデラーのワークショップでは、長い磁石を壁につけて、工具をくっつけておく事が多いようです。　**小田**

■**さて困ったナ**

ポリ部品の塗装法で悩んでます。プラキャストに反転するしかないのでしょうか?　**大阪府吹田市　山富秀樹**

車のプラモデルを作っていて、窓ガラスが割れてしまいました。曲面ガラスのつくり方があれば教えて下さい。　**神戸市須磨区　滝川耕太郎　中2**

山富君、これははっきり言って対策が無いのです。色を塗ったら動かさないという事でしょうね。スミマセン。

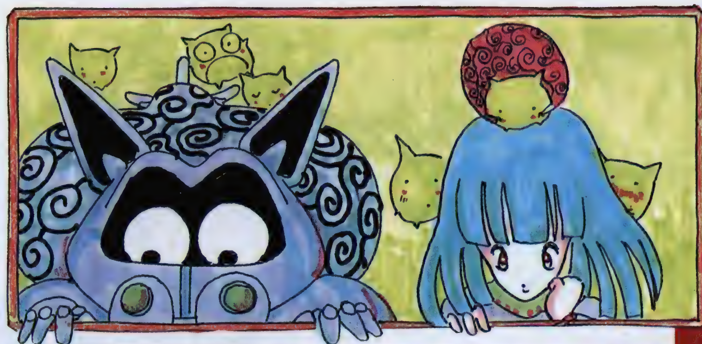
滝川君の場合、雄型を作って塩ビをヒートプレスする手がありますが、これは部品をメーカーにたのむ方が早いと思います。　**小田**



課題キット

●私の考えたガンダムMK II、エルガイムMK I、MK II

しつこく!! 追加発表です。





横浜市　東条孝　1/144



習志野市　鈴木　健司　1/144



京都市　真田　敬介　1/144



埼玉県　小山信也　1/144



名古屋市　斎藤　隆　1/144

いやはや、ようやく課題キットが束になって来るようになりました。まずはガンダムから紹介してゆきましょう。

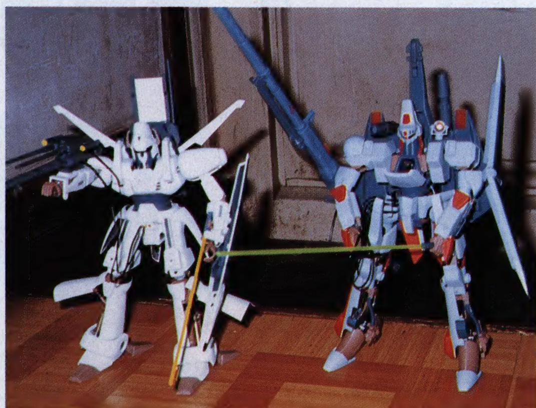
最初は斎藤さんの、パーフェクトガンダム戦国武装タイプ。課題とは少し道がそれてますけど、なによりも楽しんでいる姿勢がとても感じられます。おひな様が過ぎたので、5月5日用として作ったとか。腰についているのは弓。エンジョイホビーとして消化しているので特マルです。京都市の真田君は11才。作品はプロトタイプガンダム「イエロー」。色を変えてみるのも気分が変わるはず。こういう所から自分なりにプラモを作っていくわけです。もうちょっと仕上げキレイにね。

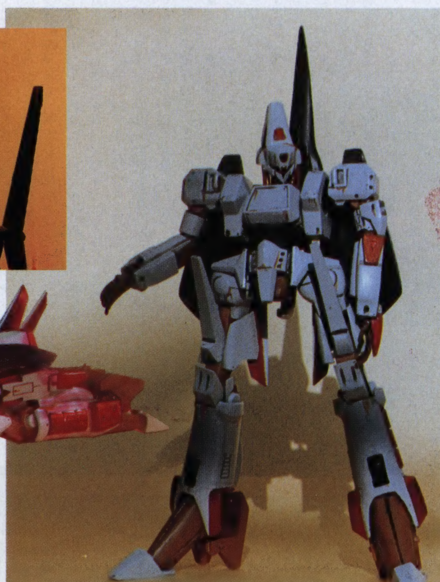
習志野市の鈴木君13才の作品は、ずばり1／144ガンダムMｋII。コレはスゴイ!!。プロポーションのとり方とかで若干の不満もあるけど。この年にしてこの作品。モデラー一同脱帽です。これから除々に図面を勉強してゆけばもっとうまくなります。横浜市の東条君のは、「ヘビーガンダム120」。色々なキットからパーツを流用しています。20%の性能アップで120という名前とか。埼玉県の小山君13才の作品は、ジオン掃投用ラップガンダム。穴戸少佐のカスタム機。ボストン降下作戦ではモビルスーツ7機を撃破。設定が乗ってます。

それではエルガイムへ。宮崎県の原田さんのMｋII。ほとんど徹底改修。写真が見にくいのが残念。形のとらえ方は抜群の特マル。墨田区の湯浅君のMｋIとMｋIIは増加武装カスタム。全体がよくわからないのが残念です。北海道の川又君はエルガイムMｋI改「バスティング・スラッガー」。1／144キットの改造です。バランスが大胆で良いです。

江戸川区の尾形君は黒いMｋII。イメージが変わって面白いです。茨城県の小倉さんは22才の大学生さん。シンプルにディテールアップしているのがいいですね。和食みたい。今回は皆さん充実してました。よかった。**雅**

●プラモ個性派倶楽部

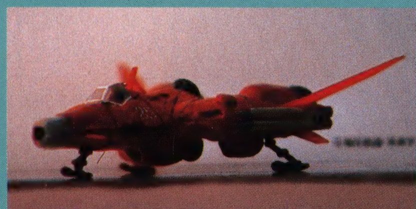

東京都墨田区　湯浅　健

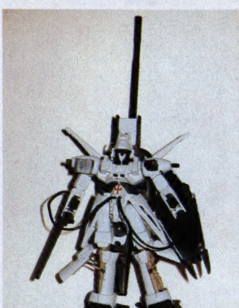


宮崎県　原田　正彦　1/144

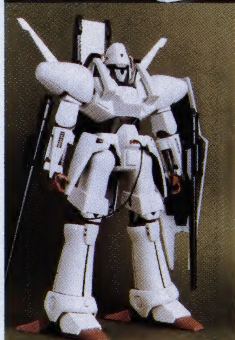
●課題外投稿ですヨ！●



泉市の船岡信男さんからは、1/72ビアレスとライネック。仕上げと塗装を慎重にすれば、もっとよくなりますよ。


東大阪市の立石弘幸さんからは、バイファムに出てきた戦闘機。これも隠れた人気アイテム。



北海道　川又　恭二　1/144


茨城県　小倉　靖　1/144



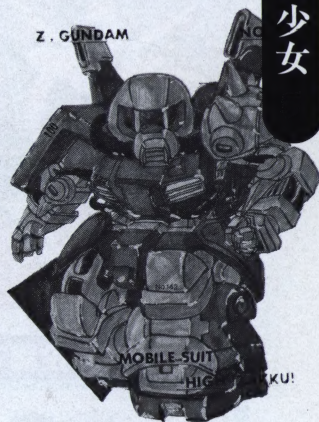
東京都江戸川区　尾形　好宣

お便りや、課題作品の宛先は、〒424静岡県清水市袖師町702　模型情報　プラモ個性派倶楽部まで。オリジナルガンダムやオリジナルヘビイメタルも、まだ引き続き受けつけますので、皆さんヨロシクネ♡！



予告です。

さてさて、もうガンダムMkIIのキットも発売されましたね。今後の課題として、ガンダムMkIIに関する改造、オリジナル武器を加えます。自分だけのオリジナル設定つきでもいいですよ。たとえばMkIIからZガンダムへの中間型とかね♡！課題①②も引き続き受けます。



▲静岡県/池ケ谷　龍

初めましてバンダイさん。今回手紙を出したのは他でもなく、『ガンダム』についての意見です。ところで『Zガンダム』見ました。とてもショックでした。あまりすばらしいので。幻魔大戦のベガの言葉を借りるなら「私はこの日のこの時を待っていたのか。」といったところでしょうか。この一年まばたきさえしないつもりで見ていきます。さて本題に移りますが、時々『Zガンダム』(以下『Z』と略す)にMSVを出してほしいという意見が聞かれますが、そう思ってる人はよく考えてください。MSVとはいったい何か?それはMSVとは旧作ガンダムの裏話的な産物なのです(つまりほぼ同じ時に存在している)。ですから『Z』ではMSVがデザイン的にもリアルですばらしく、かっこいいからと言って出しても、特にジオン軍のMSV等はなおさら出しても無意味です。『Z』のストーリーが混乱するだけなのです。『Z』ではジオン公国は存在しないのですから。だからもし、せめて出すならば、連邦軍のMSV、中でもGMキャノンやスナイパーカスタム、ガンキャノンIIぐらいしか出せないでしょう。そしてMSVの中でもFA―78やP・ジオング、MS―X等は一年戦争が続いていたらMSVはどの様に発展したかという意味のものなので、『Z』のある今では、まったく無意味なのです。まあかろうじてMS―Xのガルバルディだけは、ぎりぎり存在していたとしても良い様ですが(言うまでもなく、ガルバルディβが出てくるから)。第一『Z』のMSのデザイン(機能、性能という意味も含めて)を超えれそうなMSVがあるでしょうか?MS―06Rの方がハイザックよりすぐれていると言えるでしょうか?(別にMSVをけなしているのではなく)そういう意味からも今さらMSVを、少なくとも、そっくりそのまま同じ物を出してもムダなのです。そこで考えたのですが、それならばMSVのアイデアを使って今回の『Z』に、たとえば『デザートタイプハイザック』とか『ガルバルディキャノン』とかいう風にして出した方が良いと思いませんか?(特にMSVストリームベースの小田さん)その方が、かえってMSVの存在感をこわすこともないので良いと思います。(実際どうなるか、わからんけどね。富野さん、大河原さん、どうなさいますか?)みなさんの意見はどうでしょう?
PS:No.67のH・C・Mのノーマルガンダムの意見、いいですねー、大賛成します。是非出してください。別にGパーツやフルアーマー、パーフェクトアーマーまで付かなくてもいいですから、コアファイター変形合体とすべての武器さえあれば。(でないと値段が……目まいがする)そしてところでパロチェンマンのケンシロウ、本当に出すの?(これも目まいが……)『Zガンダム』のプラモも期待してます(ジムIIも忘れないように)。勝手に長々と書いてスイマセンでした。

大阪府/レッド・コメット

★MSVはZガンダムに登場するんだよー。もちろん不自然にならない様な演出がされるんでしょうね。

バンダイさんおはこんばんちわ!ぼくがこれを書いたのは3月2日、そうずーっとまちつづけていたZガンダムの始まる日なんです。第一話は「黒いガンダム」。でもはっきりいってでてきたガンダムMkIIはみんな青でした。まーこんなことはどうでもいいんですがMJの3月号速水仁司さんがファンドで作ったリック・ディアスかっこいいと思います。それはそうとなんでリックディアスよりハイザックの方が速くキット化するんですか!TVにはリック・ディアスの方が先にでてきたのに。まーこの話はこっちにおいといてZガンダムのおかげでエルガイムが終ってしまったー!それに「別冊エルガイム2」が3月1日に発売したので、3月4日に近くの本屋に買いにいったら、なんともう売りきれてしまっていた。あまりの悲しさにぼくはヌーベル・ディザートを買いました。でも…本体色のまぜ合わせがあまりうまくいかなくてよけいにカラーを2色も買わなくてはならなくなってしまったではないか!200円もそんをしてしまった!(セコイでしょ)ほんでもって話はかわってキット化されていないみじめなプラモの話をします。バァーンダァーイさん―いまからでもおそくないビアレスを出してください。それとC・テンプルにアトール、オリジナルオージェ、Zガンダムどんどんキット化をしていかないとザブングル、ダンバイン、エルガイムと同じようにキット化できないうちにZガンダムがおわってしまいます。だからできるだけ早く出してください。あとぼくはボンボンのMS戦記のガンダムとザクをキット化してください。せめてザクだけでもおねがいします。しつこいようですが最後にディフォルメシリーズはガチャポンにするのはやめてください。おかげでエルガイムで3回やって3回とも同じオージェがでてしまったからである。どうせなら150円でもいいから箱にいれて売ってください。おわりです。どーも読んでくれてありがとうございます。

神奈川県/鈴木　一生

★ガチャポンだからこそ、いろいろな種類のデフォルメができるのですよ。そこんとこわかってね。

バンダイさん!そしてMJを読んでいるみなさん!聞いて下さい!3月2日に○本テレビでPM4:00から「菊池桃子スペシャル」というのをやっていたのですがみなさんは見ましたか?(はっきり言って僕は桃子のファンです)その中で桃子(〝ちゃん〟をつけるべきだろうか)が宇宙遊泳をしている夢を見ているシーンがありました。その桃子の前を宇宙船(?)が飛んでいったのです。それを見た瞬間僕は「おーっと!」とプロレス中継をやりそうになりました。その宇宙船らしき物は、なんと貴社の「1/144ランドブースター・スピリッツ」だったのです。他にも気づいた人がいるかもしれません。もっとも番組を見てればの話ですけど。(そんなミーハーな人いるかなあ)アイドルタレントとアニメプラモの共演。異色のとり合わせなので思わず筆をとってしまいました。ところで話は転換しますが、3月2日といえば御存知の通り「機動戦士Zガンダム」のオン・エアーでしたね。なんとオープニングには7年後のアムロやカツ・レツ・キッカまでいてびっくり、リック・ディアスのコクピットが頭部にあるのでまたびっくり。だけどまだまだ前作と同じ物が残っていた。リフト・グリップやノーマル・スーツの応急テープ、肌の触れ合い会話など、7年前を思い出します。そういえばオープニングでゴッドバード(知らない人いるかなあ)のようなものが出てきたけど、あれが「Zガンダム」なのだろうか?とにかくバンダイさん!MSだけでもなるべく全部出して下さい!前作だって1/144は全部出せたんだから今度も出来ます!「ザ・テレビジョン別冊重戦機エルガイム2」買いました。B・テンプルがなんとかスクラッチできそうですが、エルガイムMk―IIIはなんだ!人型を維持していない、あれじゃベアズだ。ではみなさん良い模型生活を……。PS:菊池桃子はかわいい!みんなもファンになろう。近頃めっきりミーハーになったガルバルディ・テンプルでした。

神奈川県/ガルバルディ・テンプル

★Zガンダムのデザイン決定!変形できるのかなあ、不安……。発売をお楽しみに。

MJのみなさまこんにちは、初めてお便りいたします。ええ、「夢幻境戦士エリア」の連載が終わってからはや2ヶ月が過ぎました。ぼくはこの連載が始まったころ、朝日ソノラマのアドベンチャーブック(ゲームです)というものを手に入れたのです。最初は気付かなかったのですが、その本も菊地秀行さんの著書でした。どちらもすばらしい!これをきっかけに菊地さんの大ファン(んでもないですけど…)となり、本を買いまくりました。それに「エリア」のイラストも良かった。やはりMJはすばらしい。ウン、と一人うなずきました。連載が終わってしまって、ちょっと残念だったのですが、四月からは伊藤和典さんが開始されるとか。ということはイラストは高田明美さんでは?なにはともあれ、期待しております。乱筆乱文をお許し下さい。

神奈川県/板垣　大介

★「夢幻境戦士エリア」は、総集編を発行予定です。加藤・後藤コンビのイラストもたっぷり収録するよ。

◀福岡県/堀江　高志

どうも、お初にお目にかかりやす。俺は高校生です。先日、行きつけのもけいやさんに行ったらMJ、VOL・66があったので無意識のうちに買ってしまい、反動でVOL・67も買ってしまったとゆうとんでもねー野郎です。VOL・67の小田雅大先生のマニアックな編集後記を読んで感動したので場違いだとは思いますけど一言。小田先生は元々飛行機モデラーだったんですねェ。(忘れてた)私は先生の作品(飛行機)では、H社FIIF―1改スーパータイガーしか見たことないんだけど先生はタイガー好きなんですか?タイガーは最高ですよね。私は1―48―1のVF―33所属202が一番だと思います。(アンチグレア塗装してあるの、VFではこの機体だけなんでしょーか)とにかくF―4以前のNAVY機はサイコーですね。(クルセイダーも)塗装はハデハデ、フォルムはバッチシ、もう言うことなし。いかにも飛行機らしい飛行機です。バンダイさんでもあゆみをキット化してほしいものです。(ムリだな)ところでMJですけど、おもしれー本ですね。けっこういろんなライターの方が書いてらっしゃる。67の速水先生のファンドディアスはなるほどと思いました。(恐竜、ゴジラもっと作って下さい。)他にも小沢先生とかもいて、これで松○州○氏がいれば無敵(あわわっやばい)私のお気に入りは個性派倶楽部で、ヒマができればぜひ投稿したいなあ。とにかくがんばっていい本つくって下さい。PS:HCMでGMスナイパー&ライトアーマーを出して下さい。自慢じゃねえが俺はGMシリーズが大好きだっ。ライディーン期待します。次はゴワッパーファイブゴーダムだっ!?

茨城/FIGHTING33

★プラモ個性派倶楽部への投稿、待ってます。

HELLO!!毎月「模型情報」、楽しく読ませてもらっております。(近頃は、アニメ・キャラクターモデルの方には少し縁遠くなっています)しかし、買ってくるキットは、車の方が多く、興味を持つのも、車やオートバイの方が、触れる機会が多いせいかどちらかと言うと多い様です。(殊に触れるのが多いのは、Nゲージの鉄道模型ですが。)ところで話は変わりますが、「プリティーフィギュア」の小冊子の在庫はありますでしょうか。(たぶん、ないのでしょうね。)「MSV」の小冊子の再発行の予定はありますか…。(この種の設定集というのは、メカ好きの私にとってはノドから手が出る程、欲しいものです。)買おうと思ったときは、いつも手遅れで…。と言うわけで、「エルガイム」の予約もお願いします。ついでにファイルと継続の方もよろしくお願いします。これからは、アニメキャラクターモデルばかりでなく、車やオートバイ、航空機などのモデルも出してください。スケールは1/144。(鉄道模型の会社の発売ペースはすごく遅いんです。外国産のは、けっこう種類あるのですけどね…国産のは、まだ3~4種にとどまっていて…。更に航空機になると、大型機の1/200や1/144が使用可能なのみです。H社の1/144シリーズも手に入りにくいしネ)バンダイさん、ヨロシク


▶愛知県/坂井　博之

お願いします。では、これからもMSシリーズに負けないキットをつくる様にガンバッテください。

愛知県／三矢　英人

★プリティフィギュアの在庫はもうほとんどありません。MSVハンドブックの再発行の予定はありません。

初めてお便りします。エルガイムシリーズ好調ですね。毎月、新製品を楽しみにしています。MJ読者の意見の多くに1／100F・Aエルガイムシリーズの進展希望が見うけられますね。もちろん私も希望者の一人ですが、番組も終ってしまった現在、今後の模型化の予定が順調に進んでくれることを望むだけです。そこで今回は1／100F・Aエルガイムについて、語らしていただきますので、戯言と、読みながして下さって結構です。まず最初に――A級H・Mは、今までのメカと違い、コア（ムーバルフレーム）がしっかりと設定されているので、かなり楽な改造で、バリエーションが楽しめると思います。つまり、F・Aエルガイムにしても、モデラーが一作品として、フレームパーツなどを一つ一つ削り出し最高のパーツ状態、最高の仕様で作られたものをA級とすると、メーカーが販売用として、コストに見合わせてパーツを簡略化し、量産したものがB級となるわけです。もちろんB級といっても、最高水準の技術を駆使して作られたものだけあって、前者よりも当然、組み立て易く、それでいて、高い完成度が望めるキットです。つまり、F・Aシリーズは、ストレートに組んでよし、それに不満なら、いくらでも手を加えられる、いわば、「無限の可能性を秘めたキット」であるわけです。ですから、1／100エルガイム単体で様々なバリエーションが可能となるわけです。バッシュが欲しければバッシュのアーマーを、A・テンプルならアーマー+フレームの延長をすればいいのです。もちろん、それが出来ない幼少なモデラーや、技術が追いつかないモデラーもいると思います。その様な人は、腕に自信がつくまでF・Aエルガイムを買いおきしておくといいでしょう。H・Mはデザインがしっかりしているので、どのキットも優秀な出来です。中でも1／100エルガイムは、2千円でも決して高くないハズです。以上、素人が生意気言って申し訳ありませんでした。最後に、私は、Mk－IIが好きではないので、エルガイムをMk－Iと呼ばれるのはたまりません。確か、個有名詞には、Mk－Iナンバーはなかったと思いましたが…（呼び分けやすいですけどネ）。それと、エルガイムのパワーランチャーは、右腕に一本、バインダーに二本のフル装備が最高ですよ。それでは――。

千葉県／宇宙刑事ギャラバン

▶大阪府／小林　博

★フルアクションシリーズは、なかなか評判が良い様でうれしいね。エルガイムシリーズのFA新企画はないのだ。

前略MJ3月号(67)野中君の言い分わかります。僕は堂々と大担にL－GAI－Mのガチャポンをやっている高卒生（18才）です。家から10分ほどの所にもゴム製のエルガイムガチャポンがあるのです。本物を知っているので一度もやったことがないのですが気分を悪くしました。「バンダイ」と書いてあるはずのところが消されていました。ところでエルガイムシリーズがうちきり！の様ですがだして欲しいものです。（以下、欲しいもの）アトールコンバージョン・C・テンプル・ベアズ（最高!!）メッタの少女隊(!)（以下、無理だろうな）B・D・E・Gテンプル・ファティマ。最後に注文をメーカーさんに。「Zガンダム」にあまり干渉して欲しくない!!MSVをだせ（画面に）とか細かいことです。作品の価値を下げるとともにスタッフの意気ごみを削くことになりかねないから。エルガイムMkIIのバスターランチャーが小さい理由は御存知のはずです。期待しているから悪口書きました。それでは……。

／A・P・C

★MSVが登場する様ですが、バンダイが無理じいしたわけではないですよ。作品内容には干渉できません。

前略、初めてお便りします！買いましたフルアクションエルガイムMkII！本当にいい出来だと思います！ノーマル派の上にギミックの大好きなぼくにとっては充分に満足のいくキットです。バンダイさんありがとう！ところでフルアクションシリーズの第4弾としてバッシュを期待していましたが、MJ3月号を見てガッカリしました。1／100バッシュキット化の予定はないなんて…。もうこの際何でもいいからフルアクションで出して下さい。ぼくとしてはポセイダルのオリジナルオージェ「HMオージェ」なんかいいなあと思っているのですが…。オージェとあまりかわらないので多分ダメでしょうけど。で前にも誰かいっていましたが、完成度の高いフルアクションシリーズ、せっかくですから、HMだけにとどまらず、他のもの、そうゼータガンダムに関しては1／250までキット化の予定があるそうなので、1／144でフルアクションを出してみてはどうでしょうか?こうすれば、少しは値段を下げることができると思います。でも1／144でフルアクションを出すことは事態かなり無理がありますが…。まあ良ろしければ考えてみて下さい！とにかく、文頭にも述べたとおりぼくはノーマル派なので、より完成度の高いキットを求めてしまうのです！それでは今後フルアクションシリーズが充実することを期待してペンを置きたいと思います！PS：乱筆・乱文申し訳けありませんでした。

岡山県／岡崎　要

★Zガンダムシリーズの1／100シリーズもいよいよ登場です。金属パーツは使用していませんが良く動くよ。

今日は今年もやはりはじまりましたね。〝BANDAI MODEL GRANDPRIX〟去年もM・S・Vの大量進出（?）のため他シリーズ（R・V・VIFAM・H・M・L－GAI－M等）の全種模型化もなりませんでしたね。（これも毎年恒例?特に1／100なんかは…）それに期待していたH・C・Mも何かいまひとつ物足りなく（はっきり言ってH・C・Mと言えるのは、SUPER・H・C・M・L－GAI－M位だと思う）最初にBANDAIさんが言っていたメモリアルなキャラでやってほしかった。このまじゃT社のデュアル・モデルといっしょではないですか。（うーんFULL ARMOR GUNDAMの増加装甲の離脱が！ノーマルのリックドムが！完全変形のバルキリーが！ほしい！）そーいえば毎年春先に出るシリーズの最後を飾るもの、今回のエルガイムシリーズはア・トールという噂があるのですが…（まさかN・ディザードで終りではないですね。マクミトンビルドはかっこいいのですから）それとL－GAI－Mネタのもう一つの百円ガチャポン一種を除いて（L－GAI－M Mk・Iよ）よく似ていますね。特にディザードを見たときはそのまま1／144の頭部に使ってしまおうと思った位ですわ。是非第三弾としては、アトール、C・テンプル、グルーン、N・ディザードをお願いします。それにしてもSCALE物は寂しくなりましたね！とうとう〝0〟になっちゃって。それでもって外国産のを輸入とは、まあいいか?とまあ色々書きましたが最後にHi－METAL・L－GAI MkII－1／30R－1／リリス・ファウ、1／144C・テンプルは没でしょうか?PS：最近ULTRASEVENが再放送されたのだから（ナゼか4チャンネル）あのULTRA警備隊基地の再販（1～3号、マグマライザー）をおねがいします！

東京都／関　たかゆき

★スケールファンは確かにさびしい思いをしているでしょうね。1／20カー1／12バイク、1／48AFV……。

◀千葉県／山口　琢也

◀静岡県／住吉　賢治

模型情報 5月号

発行人……………………………………山科　誠
編集人……………………………………加藤　智
構　成……………池田　憲章／岩井田　雅行
小田　雅弘／金田　益実
徳木　吉春／安井　尚志
表紙イラスト…………………………増尾　隆幸
写真撮影………………サンフォトサービス社
レイアウト……………㈱藤森デザイン事務所

▼ジョン・ランディス監督の新作「眠れぬ夜のために」を観た。相変らず、と言うよりもまたもや、その演出のうまさに度肝をぬかれた。音楽、キャスティング、ファッション、舞台、セリフなどなどそのどれもが憎いほど決まっている。決まりすぎて怖いぐらいだぜ、まったく。（岩井田）

▼Zガンダムの新モビルスーツ群が続々登場。古い考えを払拭して見る事がエンジョイする事の第一歩です。メッサーラがカッコイイ。百式も良さそう。藤田センセ、デザインがんばって下さいね。エッ、アそうか、こっちはそれを試作しなきゃいけないんだっけ、コリャ大変だ。（雅）

▼前号で予告したとおり、特撮ヒーローのページをスタートしました。これからも、珍しい写真やデータで皆さんの記憶を刺激(?)しますヨ。取りあげて欲しいヒーローがあったら意見や希望を寄せて下さい。懐かしのプラモでディオラマを作りたいなァなんて、考えてもいるんです。いかがですか。（安）

▼始まった頃から「Zガンダム」は解りにくいという声を聞く。そうなのだろうか?MSやSF用語にはとらわれず〝ドラマ〟として見れば、その感情の盛り上げやセリフ廻しに〝感銘〟しない訳がないのだが……。（徳木）

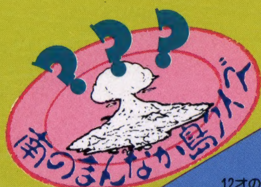
▼「テラホークス」がNHKで始まったが、まるでギャグ作品。ギャバンの頭そっくりのゼロ軍曹のあたしゃ大ファンになってしまった。誰か、あの形で音が出るゼロ軍曹ラジオを作ってくれんかなあ。（池田）

▼先月号から連載開始された〝スパイラルゾーン〟はいかがですか?お気づきとは思いますが、昨年連載していた〝ファイアーボール〟が、一部、メカデザインのベースになってはいますが原作があって、メカデザイン・キャラデザインが決定して、これで人気が出れば、ビデオ化だって夢じゃない。どうですか!?エモーションの渡辺さん。スパイラルゾーンの感想を聞かせてほしいな。（加）

★模型情報は模型店・玩具店でお買い求め下さい。尚、当社直送をご希望される場合は、代金（半年間900円、一年間1800円）を現金書留か郵便為替で同封の上、住所・氏名・生年月日・電話番号・何月号から希望するかを明記の上、お申し込み下さい。

●〒424　静岡県清水市袖師町702　㈱バンダイ静岡工場　MJ編集部・定期購読係まで

模型情報 69
模型情報5月号 昭和60年5月1日発行（毎月1回1日発行）第5巻第4号通巻69号 昭和59年10月26日第3種郵便物認可
発行人・山科誠 編集人・加藤智 印刷・小野美術印刷 発行所・〒424静岡県清水市袖師町702㈱バンダイ静岡工場 電話0543(65)5362(代) 定価一〇〇円



ヒント
12オのモモが魔法で変身した時の年齢×10=□□□（これが答えで〜す）

みんな！謎の南のまんなか島を捜してね！南のまんなか島は、赤道直下にあります。さて、その場所の東経は何度でしょう？

■応募方法：官製ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年令を明記して、下記の住所へお送りください。
（できれば、ミンキーモモへのご意見・ご希望も書き添えてね!!）
■締め切り：7月20日（消印有効）
■あて先：〒150 東京都渋谷区神宮前4-26-18 原宿ピアザビル ビクター音楽産業㈱第4宣伝グループ ビクターアニメ情報局 南のまんなか島クイズ」MJ5-B係
■発表：■ビクターアニメ情報局20号（8月1日号）
■バンダイ模型情報8月号の誌上にて発表。
■賞品：豪華ミンキーモモ・グッズで〜す！
（詳しくは来月お知らせします。）
■お問い合わせ：ビクターアニメ情報局 TEL.03(408)1994

ミンキーモモ/ファンの集い
フェナリナーサ・サミット
We Love Momo

モモ・ファンなら絶対参加しなくちゃね！新作ビデオの発売を記念して、「フェナリナーサ・サミット」を開催しま〜す。モモの新作情報はもちろん、楽しいイベントやプレゼントがいっぱい。往復ハガキに住所、氏名、年令を記入して、アニメ情報局までどしどしご応募ください。また、返信欄にも必らず自分の宛先を書いてくださいね。詳しくは、アニメ情報局（TEL.03(408)1994）まで。
♥6/16(日) 名古屋（名古屋青少年会館）
♥6/29(土) 東　京（科学技術館サイエンス・ホール）
♥6月下旬 大阪（会場は未定）●締め切り/5月31日まで





▶カラー80分 ステレオHifi ¥12,800
VHS VTG-132 β VBG-132
予約特典：豪華特製モモ文庫付
発売元：株式会社バンダイ 販売元：ビクター音楽産業㈱
※ミンキーモモ「夢の中の輪舞」のビデオテープのお問い合わせは、ビクター音楽産業㈱ TEL03(405)5151まで
©葦プロ

TVシリーズ放送中からスタッフ全員が、ぜひモモを長編アニメ（35㎜劇場版用）で、とついにその願いが実現！タイトルは「夢の中の輪舞（ロンド）」。南のまんなか島という不思議な島を舞台に、SF仕立ての大活劇とモモのせつない恋心をからめたロマンス色、ファンタジー色いっぱいの作品。—夫婦水いらずの南極旅行に出かけた地球のパパとママの飛行機が!? なぜか、南の島のジャングルに不時着。その行方を探すため、モモもいざ島へ…。スルメッチやルピンなどサブキャラ全員登場のオールスターキャストによる豪華版。

★新主題歌6/21発売「夢の中の輪舞」（歌：志賀真理子）KV3068 ¥700 ビクター音楽産業㈱より

エモーションの新作オリジナル2本立。



※「ロング・グッドバイ」の発売予定が6/5から6/15に変更になりました。

★ロング・グッドバイ主題歌シングル「ハートのSEASON」（歌：太田貴子）6/25発売 ¥700 徳間ジャパンより 7JAS-35　©スタジオぴえろ NTV

6/15 発売予定
新作オリジナル第2弾
魔法の天使 クリィミーマミ
「ロング・グッドバイ」

■カラー50分 ステレオHifi（予）¥9,800
VHS BES-120 β BEB-120

マミファン待望の新作ビデオが、いよいよエモーションから発売されます。中学2年生になる優を主人公に、物語はめぐみが主演するSF映画の製作からスタート。しかし、クランクイン直前に優は自分の意志とは無関係に突然マミに変身したから、さあ大変！ポジもネガもいなくなし…てんやわんやの珍騒動。さて、この結末は？
監督：小林治、演出：望月智充、脚本：伊藤和典、キャラクターデザイン：高田明美。前作「永遠のワンスモア」以上のパワーを発揮してお届けする第2弾で、今回はTVではオン・エアされない完全ビデオ版。
予約特典：豪華特製マミブック付

「ロング・グッドバイ」イベントスケジュール
■5/31(金) 横浜／横浜西公会堂 4:30PM開演
■6/2(日) 東京／新宿ミラノ座 8:30AM開演
■6/9(日) 大阪／東映会館5F東映ホール 8:00AM開演
■6/15(土) 浜松／勤労会館 4:30PM開演
■6/17(月) 名古屋／中小企業センター 6:00PM開演
■6/19(水) 東京／東横劇場 4:30PM開演
■6/23(日) 松戸／BOX.HILL 3:00PM開演
●お問い合わせ先／(株)AE企画 03(589)5231
★入場券をご希望の方は、往復ハガキに住所・氏名・年令・電話番号・ビデオ化希望作品・ご希望の会場名を記入の上、〒111 東京都台東区駒形2-5-4㈱バンダイ「ロング・グッドバイ」係までお申し込み下さい また返信ハガキの表には自分の住所・氏名をお忘れなく
●締め切り/5月20日まで

5月28日発売の新作アイテム

TAPE	プリズナーNo.6(3)	カラー100分	¥13,800
	アギ〜鬼神の怒り	カラー 60分	¥ 9,800
	サンダーバード5(TV版2)	カラー100分	¥13,800
	ファンタスティックプラネット	カラー 75分	㊮¥13,800
	超時空世紀オーガスII	カラー 45分	¥ 9,000
	魔法のプリンセスミンキーモモV	カラー 30分	¥ 6,000
LD	怪奇大作戦(1)	カラー100分	¥ 9,800
	ルパン三世(1)(旧シリーズ1〜4話)	カラー100分	¥ 9,800
	クリィミーマミ「永遠のワンスモア」㊒	カラー 90分	¥ 9,800
VHD	サンダーバード(2)	カラー105分	¥ 9,800
	魔法のプリンセスミンキーモモ(1)	カラー 50分	¥ 8,800

★カタログご希望の方は、60円切手を貼った住所・氏名記入の封筒を同封し、フロンティア事業部エモーションカタログ請求MJ5-B係までお送り下さい

お問合わせ☎(03)589-5231
●販売代理店／株式会社AE企画
●発売元／株式会社バンダイ
フロンティア事業部
東京都台東区駒形2-5-4 〒111

